

# 霞ヶ浦北浦の水産

平成22年9月

茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所

## 目 次

1. 霞ヶ浦北浦の概況	1
2. 漁業及び養殖生産	3
3. 水産資源の増殖及び環境保全対策	10
4. 資源管理型漁業の推進	13
5. 漁業制度	14
6. 水産物流通加工	17
7. 漁船と漁港・船溜り	26
8. 水産業団体及び組合員	27
9. 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要	30
10. 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体	31
11. 資料（霞ヶ浦北浦海区の漁場図，漁業生産量の推移）	36



# 1 霞ヶ浦北浦の概況

霞ヶ浦北浦はワカサギ、シラウオ、エビ等の水産資源に恵まれ、古くから多種多様な漁業が盛んに行われている湖である。漁業生産は近年減少傾向にあるものの、平成20年には2,068トン（589百万円）で、全国湖沼漁獲量の13.4%を占めており、生産量の多い湖沼では漁獲対象種が主にシジミであるのに対して、本湖はエビ類及び魚類が主体となっているのが特徴である（図1）。その豊かな資源を背景に、ワカサギ、ハゼ、エビなどを使った佃煮や煮干しなど地域性豊かな水産加工業も発展してきており、現在に至るまで地域の特産物として県内はもとより全国各地の消費者から広く親しまれている。近年においては、地元における漁獲量の減少傾向等もあり、県外や外国の水産物も加工原料として活用されているが、依然として霞ヶ浦北浦における漁獲物は加工原料として重要な位置を占めている。加工業者にとっては、多様化する消費者ニーズに対応するため、これまでの伝統的技術を踏まえながら時代の変化に対応した新製品開発に取り組む一方、各種の催事等で水産加工品のPR活動に努めている。また、昭和39年には網いけす養殖業が導入され、平成15年には3,610トンのコイを生産し、全国生産量の48%を占めていたが、平成16年～平成20年の間はKHV病のためコイ養殖は休止、平成21年から再開された。

表1 霞ヶ浦北浦の諸元

成因	海跡湖
湖沼類型	富栄養湖
水面標高	YP+1.1m（夏期）、+1.3m（冬期）
全流域面積	2156.7 km <sup>2</sup> （茨城県全体の約35%）
湖面積	220 km <sup>2</sup> （霞ヶ浦172 km <sup>2</sup> 北浦36 km <sup>2</sup> その他12 km <sup>2</sup> ）
湖岸線距離	248.9 km（霞ヶ浦120.5 km 北浦74.5 km その他53.9 km）
水深	平均：4m、最大：7m
貯水容量	約8.5億立米（YP+1.0m）
沿岸市町村	13市町村（茨城県10市1町1村、千葉県1市）

（国土交通省霞ヶ浦河川事務所資料）

昭和40年代に入り湖周辺の都市化や、治水、利水のための護岸整備等を内容とする霞ヶ浦開発事業（昭和43年～平成7年度）が進められるなど、湖及び周辺地域の環境は大きく変化し、富栄養化の進行や湖岸の水生植物帯が減少するなど漁場環境は著しく悪化した。また、アメリカナマズなどの外来魚やニゴイ、ボラ等が勢力を増しており、漁業環境の悪化や、外来魚による食害等の影響もあり、在来有用種は年々減少し、生産量は昭和53年ピーク時の約10分の1で低迷し、漁業及び水産加工業は厳しい状況におかれている。

コイの網いけす養殖業においては、生産量の増大による魚価安、消費の伸び悩み等の課題に対し、学校給食での利用促進等、地元消費拡大への取り組みが進められた。しかし、平成15年10～11月に、養殖コイ及び天然コイにコイヘルペスウイルス病（以下、KHV病）が発生し、1,190トン（聞きとり結果集計）の養殖コイがへい死した。

その後、持続的養殖生産確保法に基づく、まん延防止対策として平成16年3月末までに2,467トンの養殖コイを処分（全量処分）し、コイ養殖は休止状態となった。

平成21年4月には、KHV病に強いコイの作出技術やまん延させない出荷流通方法について解決が図られたため、KHV発症が起きにくい種苗の使用や、切り身や加熱加工による出

荷等の条件付で、養殖再開となった。

一方、霞ヶ浦北浦は首都圏に近い手軽なレジャースポットとして、ブラックバスやコイ、フナを対象とした釣りを始め、ヨット、ウインドサーフィン、水上スキー等の湖上レジャーが盛んである。しかし、漁具の被害やゴミ投棄などの問題が生じており、漁業とレジャーとの湖面利用等の調整が課題となっている。コイ釣りに関しては、近年大物釣りと呼ばれる全長1m程度のコイを釣ることが流行しているが、天然魚にもKHV病が発生しているため、霞ヶ浦北浦以外の水域へコイを持ち出さないよう協力を呼びかけている。

このような状況の中、県においては、水産業の維持、発展を図るため、ワカサギ卵の人工ふ化放流やウナギの稚魚の放流、外来魚の駆除、魚類の産卵育成の場となる水生植物帯の造成、資源管理等による資源維持・増大対策を始め、未利用雑魚の利活用や消費拡大対策、KHV病対策、湖面利用調整等の遊漁対策など、各種の施策を講じている。

図1-1 平成20年漁獲量の魚種別割合(全国湖沼計)

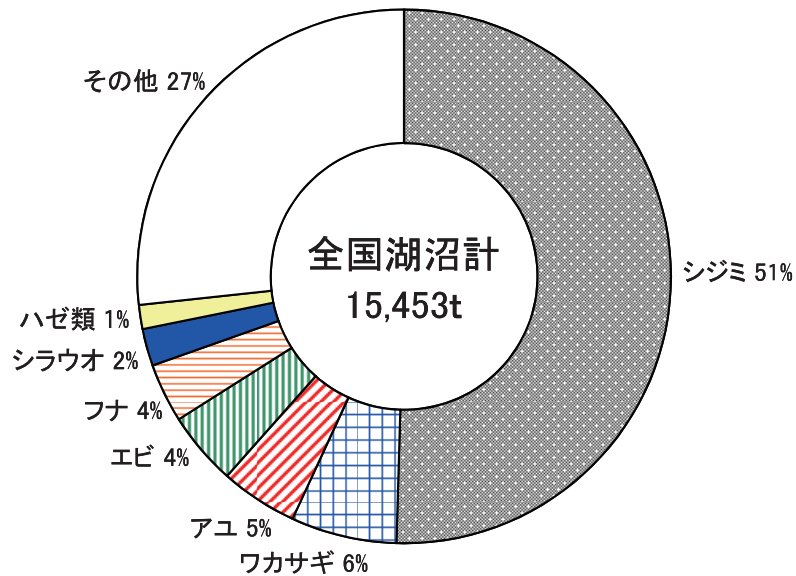
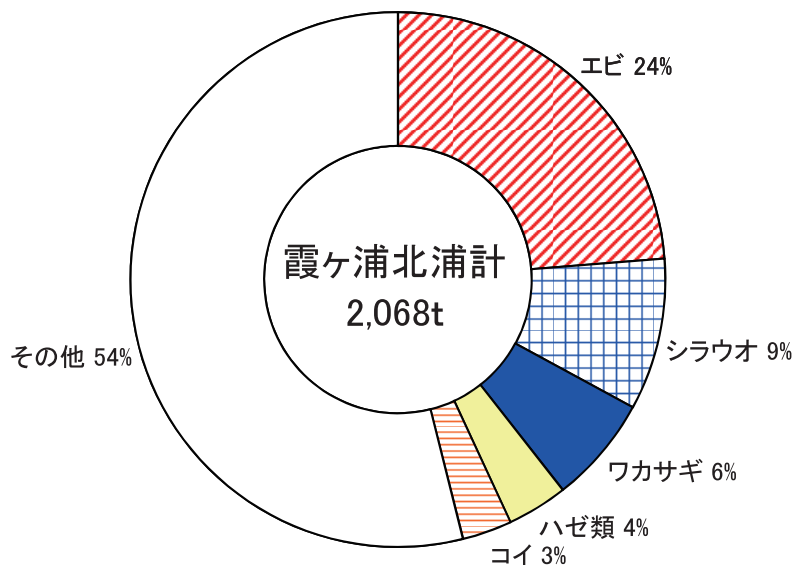


図1-2 平成20年漁獲量の魚種別割合(霞ヶ浦北浦計)



## 2 漁業及び養殖生産

### (1) 漁業の概況

霞ヶ浦北浦は、かつて広大な内海であり、古くから漁業が営まれていた。江戸時代の利根川の東遷までは海産魚も多く生息し、クジラ以外は何でもいると言われていた。利根川東遷以降、上流からの土砂が利根川との合流部に堆積し淡水化が進んだものの、昭和49年に常陸川水門（逆水門）が完全閉鎖されるまでは海水が遡上していたため、海水魚、汽水魚も多く生息し、また下流（霞ヶ浦は古渡―麻生以南、北浦は白浜以南）ではヤマトシジミも漁獲されていた。

逆水門の完全閉鎖後、淡水化した湖では生産量が伸び、昭和53年にはピーク（17,487トン）に達したが、富栄養化の進行、水生植物帯の極端な減少、外来魚の繁殖など漁場環境は年々悪化し、漁業生産量は減少している。

現在は漁船（総トン数2.5トン以下）により網を引くわかさぎ・しらうおひき網漁業（通称：トロール）、いさざ・ごろひき網漁業（通称：横ひき）と、漁具を固定する張網漁業（定置網）、さし網漁業（通称：掛網）等を中心とした操業が行われている。かつてはワカサギ、シラウオは風力を利用した帆びき網漁業により漁獲されていたが、昭和40年頃から動力を用いたより効率の良い、わかさぎ・しらうおひき網漁業に転換し、現在に至っている。

#### ① 魚種別生産量，生産額

霞ヶ浦北浦の魚種別の生産量の推移を図2に、各年代毎の魚種別生産量，生産額の割合を図3に、近年の魚種別生産量，生産額等は表2に示した。また、各年代の漁業生産の特徴は次のとおりである。

- ◆昭和41年以前 区分：富栄養化以前，代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）
  - ・ワカサギ及びシラウオが主な漁獲対象で，主に帆びき網漁で漁獲され，ワカサギが総生産量の24%を占める主要な魚種であった。
  - ・逆水門は昭和39年に運用が開始されたが，完全閉鎖しておらず，まだ海水が逆流していたため，霞ヶ浦北浦の下流ではシジミが漁獲され，総生産量の18%を占めていた。
  - ・シラスウナギの遡上が可能であったため，ウナギの生産量も多く，全生産額の10%を占め漁業者の重要な収入源であった。
  - ・イサザアミ（当時はコマセと呼ばれていた）の生産量も多く，総生産量の10%を占めた。
  - ・その他では，淡貝（カラスガイ等），タナゴ等の生産量が多く，淡貝は食用のほかボタン材料としても利用されていた。
  
- ◆昭和42年～昭和48年 区分：富栄養化の進行，生産量の増大期，代表年：昭和48年
  - ・富栄養化が進行し，エビ，ハゼ類の生産量が増加したことにより，全体の生産量は10,000トンを超えていった。
  - ・一方，ワカサギ，シラウオの生産量及び総生産量に占める割合は減少し，ワカサギ，シラウオを中心とした湖からエビ，ハゼ類を中心とする湖へと変化した。
  - ・逆水門は昭和38年に完成したが完全閉鎖されておらず，シジミは1,000トンを超える漁獲があった。

- ◆昭和49年～平成9年 区分：生産量の極大期から減少期，代表年：昭和53年（ピーク）
  - ・逆水門の完全閉鎖から4年後の昭和53年に総生産量はピークに達し，17,487トンを記録した。
  - ・ハゼ類及びエビの生産量は更に伸び，イサザアミを加えた3種が総生産量の64%を占めた。この3種を漁獲対象とするいさざ・ごろひき網が大きく伸びた時期である。
  - ・昭和53年以降，ハゼ類及びエビが減少に転じたことにより，生産量は漸減した。
  - ・かつて主要な漁獲対象であったシジミは昭和53年までは1,000トン以上の漁獲があったが，その後急減し平成元年の4トンを最後に途絶えた。
  - ・昭和53年以降，総生産量は減少に転じたが，エビ，ハゼ類中心の漁獲があり，平成9年まで，年間総生産量は常に4,000トンを超えていた。

- ◆平成10年～平成20年 区分：生産量の低迷期（3,000トン以下），代表年：平成15年
  - ・平成10年以降はエビ，ハゼ類の減少に歯止めがかからず，総生産量は3,000トンを下回り，現在も低迷している。
  - ・ワカサギ資源は低水準にあり，エビ，ハゼ類の減少が顕著である。
  - ・近年は生産量の減少もさることながら，販売の対象とならない魚（ボラ，ニゴイ及びアメリカナマズなど）の入網割合が高くなっていることも漁業の衰退に追い討ちをかけている。
  - ・生産量減少の原因は，①生息環境の悪化（生産容量の低下，植物プランクトン相の変化）②有用種の繁殖育成場である水生植物帯の減少，③魚食性の外来魚の繁殖などの複合的な要因によるものと考えられている。

平成20年の総生産量は，シラウオなどが増加したものの，ワカサギ・エビ・ゴロなどが減少したため，前年（2,591トン）を下回る2,068トンであった。

魚種別の単価はウナギが2,500円/kg超，シラウオが約1,000円/kg，ワカサギは約800円/kg，他魚種は150～300円/kgであり，全魚種平均では約300円/kgとなっている。

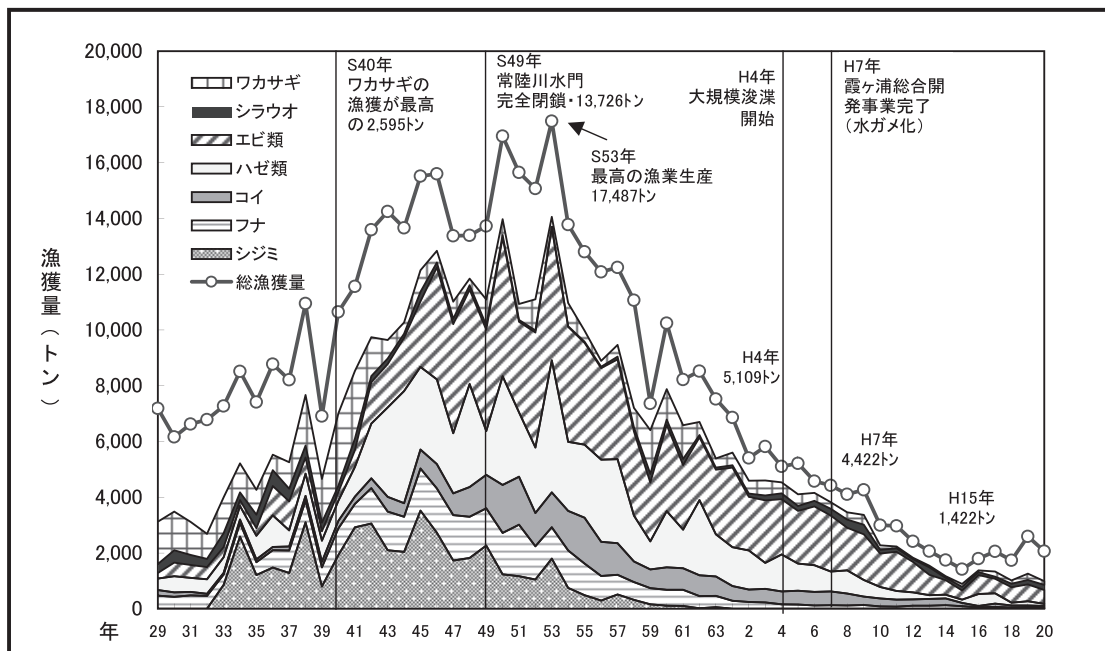


図2 霞ヶ浦北浦における魚種別生産量

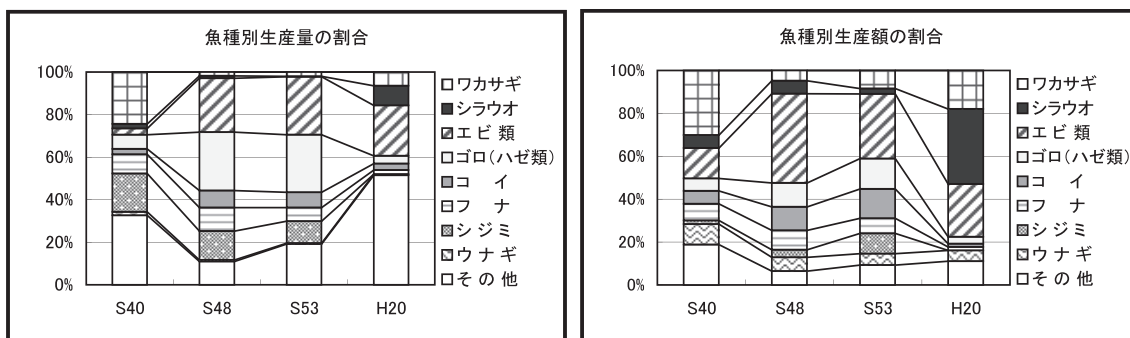


図3 各年代の魚種別生産量, 生産額の割合

表2-1 近年の魚種別生産量 (トン)

	魚種	H16	H17	H18	H19	H20
霞ヶ浦	ワカサギ	29	78	44	147	98
	シラウオ	50	52	109	145	177
	コイ	41	92	42	39	42
	フナ	35	48	31	27	23
	ウナギ	9	13	9	7	10
	ゴロ(ハゼ類)	407	360	81	139	69
	エビ類	644	504	549	592	480
	その他	314	508	512	1,092	903
	霞ヶ浦計	1,529	1,655	1,377	2,188	1,802
北浦	ワカサギ	42	108	79	80	36
	シラウオ	53	27	18	20	13
	コイ	13	27	27	27	20
	フナ	13	18	14	22	17
	ウナギ	3	2	2	2	1
	ゴロ(ハゼ類)	19	11	23	13	7
	エビ類	35	14	2	11	11
	その他	87	199	198	228	161
北浦計	265	406	363	403	266	
合計	ワカサギ	71	186	123	227	134
	シラウオ	103	79	127	165	190
	コイ	54	119	69	66	62
	フナ	48	66	45	49	40
	ウナギ	12	15	11	9	11
	ゴロ(ハゼ類)	426	371	104	152	76
	エビ類	679	518	551	603	491
	その他	401	707	710	1,320	1,064
	合計	1,794	2,061	1,740	2,591	2,068

(茨城農林水産統計年報)

表2-2 近年の魚種別生産額 (百万円)

	魚種	H16	H17	H18	H19	H20
霞ヶ浦北浦合計	ワカサギ	43	139	90	151	106
	シラウオ	118	96	126	182	206
	コイ	7	30	15	10	9
	フナ	9	16	11	13	9
	ウナギ	30	39	28	22	30
	ゴロ(ハゼ類)	117	74	21	34	19
	エビ類	240	163	151	169	169
	その他	35	51	53	101	41
	合計	599	608	495	682	589

(茨城県農林水産統計年報)

表2-3 近年の魚種別平均単価 (円/kg)

	魚種	H16	H17	H18	H19	H20
霞ヶ浦北浦合計	ワカサギ	606	747	732	665	791
	シラウオ	1,146	1,215	992	1,103	1,084
	コイ	109	252	217	152	145
	フナ	188	242	244	265	225
	ウナギ	2,500	2,600	2,545	2,444	2,727
	ゴロ(ハゼ類)	275	199	202	224	250
	エビ類	353	315	274	280	344
	その他	87	72	75	77	39
	全魚種平均	334	295	284	263	285

(茨城県農林水産統計年報)



## ② 漁業種類別生産量，生産額

霞ヶ浦北浦の漁業種類別生産量の推移を図4に，各年代毎の漁業種類別生産量の割合を図5に，近年の漁業種類別生産量を表3に示した。また，各年代の漁業生産の特徴は次のとおりである。

- ◆昭和41年まで 区分：富栄養化以前，代表年：昭和40年（ワカサギの漁獲が最高を記録）
  - ・ワカサギ及びシラウオは，風力を用いた底びき網（帆びき網）によって漁獲されていた。
  - ・採貝（シジミ，淡貝）が総生産量の34%を占め最も生産の多い漁業種類であった。
  - ・その他の漁法に含まれる，大徳網などの伝統漁業，笹浸やはえ縄も盛んであった。
  
- ◆昭和42年～昭和48年 区分：富栄養化の進行，生産量の増大期，代表年：昭和48年
  - ・富栄養化の進行に伴い，ハゼ類，エビが増加し，張網による生産量が急増した。張網は昭和42年に前年比2倍の生産をあげている。
  - ・逆に，淡水化の進行により採貝の生産量は減少し，昭和48年は10年前の40%である。
  - ・帆びき網から，より効率的な底びき網である（天候に左右されない，1人で操業可能），わかさぎ・しらうおひき網に転換した。わかさぎ・しらうおひき網は現在も主要な漁法となっている。
  
- ◆昭和49年～平成9年 区分：生産量の極大期から減少期，代表年：昭和53年（ピーク）
  - ・逆水門の閉鎖以降は，増加した張網に加え，ハゼ類，エビ，イサザアミを対象とする底びき網（いさぎ・ごろひき網）の生産量が増加した。
  - ・ワカサギはわかさぎ・しらうおひき網により効率良く漁獲されるようになったものの，乱獲状態で資源は減り，帆びき網時代の生産量を上回ることにはなかった。
  - ・シジミや淡貝の資源の減少に伴い採貝漁業は更に縮小し，平成4年以後漁獲はない。
  - ・その他の漁業の生産量が極めて少なく，主要4漁法（わかさぎ・しらうおひき網，いさぎ・ごろひき網，掛網，張網）の漁獲が90%を超えるようになり，漁法の多様化が薄れてきた。
  
- ◆平成10年～平成20年 区分：生産量の低迷期（3,000トン以下），代表年：平成15年
  - ・総生産量が減っているが，底びき網（わかさぎ・しらうおひき網，いさぎ・ごろひき網）が総生産量の概ね60%以上を占めている。また，湖全体の生産量が減少しているため，湖岸域での張網，笹浸による生産量が減少している。

平成20年の漁業種類別生産量は，底びき網漁業，掛網，張網による生産量がいずれも減少したため，前年より523トン減の2,068トンとなった。

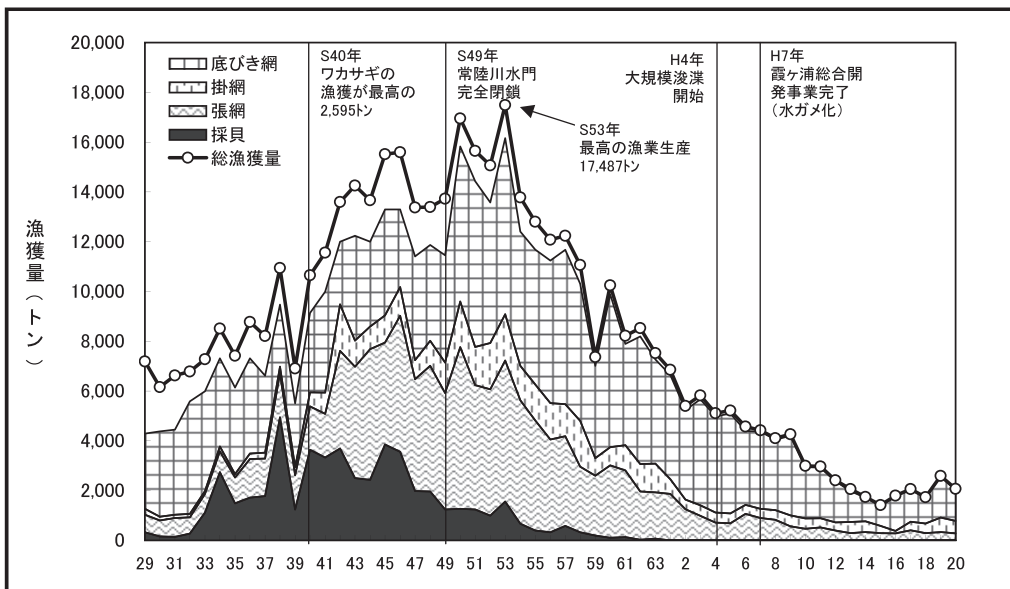


図4 霞ヶ浦北浦における漁業種類別生産量

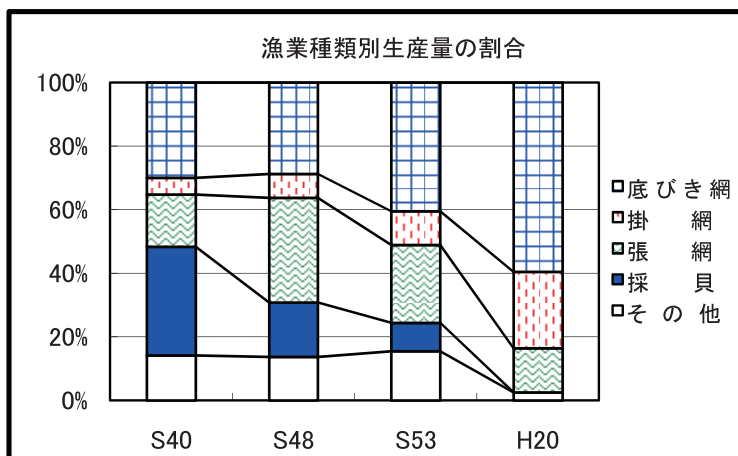


図5 各年代の漁業種類別生産量の割合

表3 近年の漁業種類別生産量 (トン)

	漁法	H16	H17	H18	H19	H20
霞ヶ浦	底びき網	1,233	1,147	926	1,548	1,175
	掛網	46	232	227	381	367
	張網	226	267	209	246	212
	その他	24	9	15	13	48
	合計	1,529	1,655	1,377	2,188	1,802
北浦	底びき網	147	140	117	102	57
	掛網	59	119	156	203	130
	張網	52	135	84	89	74
	その他	7	12	6	9	5
	合計	265	406	363	403	266
合計	底びき網	1,380	1,287	1,043	1,650	1,232
	掛網	105	351	383	584	497
	張網	278	402	293	335	286
	その他	31	21	21	22	53
	合計	1,794	2,061	1,740	2,591	2,068

(茨城農林水産統計年報)

## (2) 養殖業の概況

本水域では、小割式養殖業（網いけす養殖）、淡水真珠養殖業（イケチョウガイ）及びコイ等の種苗生産を主目的とする池中養殖業が行われている。

### 【網いけす養殖業】

第1種区画漁業権（小割式養殖業）に基づく網いけす養殖業は、つくり育てる漁業の一環として昭和39年に導入され、漁場の高い生産性と養殖技術の発展により急速に生産量を伸ばした。

コイの生産量は昭和50年には先進県である長野県を抜いて全国一となり、昭和57年には8,641トンと生産のピークを迎えた。その後、需要の減少により徐々に生産量が減ってきたものの全国一の地位を維持してきた。しかし、平成15年10月にKHV病が発生し、平成16年3月の全量処分以降、KHV病の発症防止策、まん延防止対策ならびに経営対策といった課題があったため、コイ養殖は休止状態となっていた。（図6）

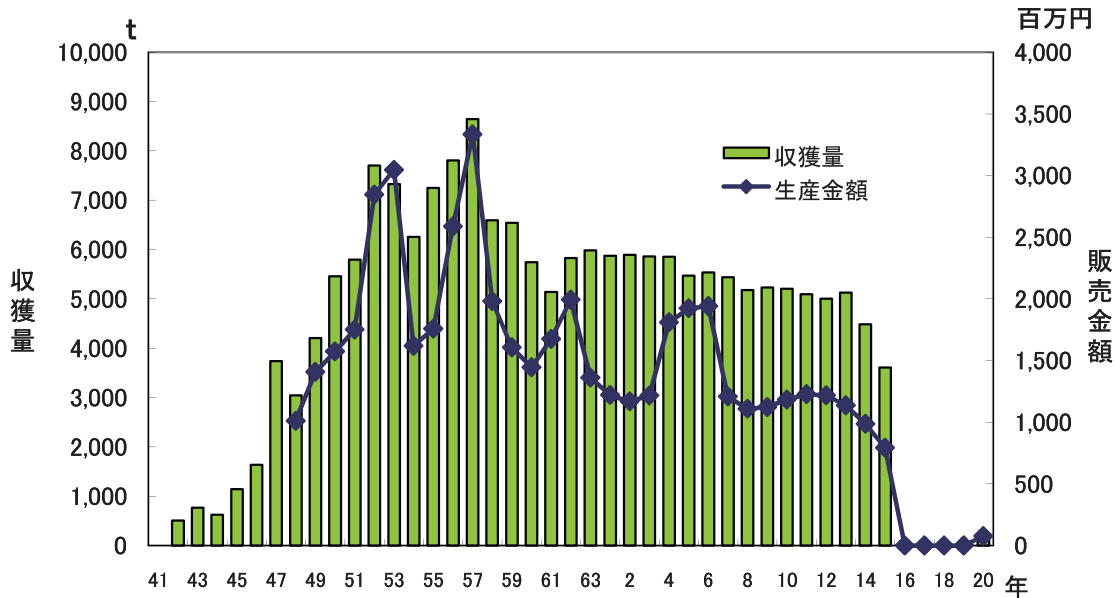


図6 霞ヶ浦北浦における養殖コイの収穫量と販売金額の推移

KHV病発生以前は、汚濁負荷を軽減しながら、品質の良いコイの生産と経営の安定化を重要課題とし、生産・流通・経営対策の検討、飼料改善や自主減面、魚種転換による養殖負荷軽減及び生産抑制対策を進めてきた。また、県内水面水産試験場で開発した全メスコイの実用化等による品質向上、水産用医薬品の適正使用や生産管理記録の導入などによる食の安全安心の確保、コイの竜田揚げの学校給食への提供やすり身加工販売などにも取り組んできた。

しかし、KHV病発生後、コイは平成16年3月末までに当時飼養されていた2,467トン全量が焼却処分され、法に基づき損失補償が行われた。その後、KHV病の発生するおそれがあることから、県の自粛要請により、養殖業者はコイ養殖を休止していた。

平成21年4月、養殖再開に向けて取り組んできたKHV病に強いコイの作出技術や

まん延しない安全安心な流通方法について解決が図られたため、県は自粛要請を解除し、コイ養殖は約5年半振りに再開された。

今後は、KHVに強いコイの作出技術の養殖業者への普及や、近年落ちている需要の喚起を目指した取り組みが進められる。

また、養殖業者の一部では、チャンネルキャットフィッシュ、フナ等の生産が行われ、収穫量148トン、生産金額59百万円となっている(表4)。

項 目		H16	H17	H18	H19	H20
収穫量 (トン)	コイ	-	-	-	-	218
	その他	192	156	86	148	188
	<b>合計</b>	<b>192</b>	<b>156</b>	<b>86</b>	<b>148</b>	<b>406</b>
生産金額 (百万円)	コイ	-	-	-	-	76
	その他	87	76	40	59	38
	<b>合計</b>	<b>87</b>	<b>76</b>	<b>40</b>	<b>59</b>	<b>114</b>
単価 (kg/円)	コイ	-	-	-	-	349
	その他	453	487	465	399	202

x : 秘密保護上公表しない - : 事実のないもの (茨城農林水産統計年報)

表4 網いけす養殖業の概況

### 3 水産資源の増殖及び環境保全対策

県では、沿岸地区の重要な地場産業である漁業及び水産加工業の振興を図るため、水産資源の増殖及び漁場環境保全対策を実施している。

また、後継者育成と水産業の広報を目的に少年水産教室を開催してきたが、近年では小学校の「総合的な学習」として、霞ヶ浦北浦の生態系や水産業を教材とするケースが増えており、学校や市町村、漁協と連携した水産教室が一年を通じて実施されるようになってきている。

#### (1) 水産資源の増殖

霞ヶ浦北浦では、古くから諏訪湖産ワカサギ卵の移植やウナギ種苗の放流などの増殖事業が行われている。県では、放流事業への補助や、水産動植物の採捕を禁じる保護水面（4ヶ所）及び禁止区域（9ヶ所）を設定し、水産資源の増殖に努めている（漁場概要図（巻末）を参照）。

霞ヶ浦北浦の水産業のシンボルであり、資源回復が強く求められているワカサギについては、湖内産ワカサギの人工ふ化放流が霞ヶ浦漁連、きたうら広域漁協及び潮来漁協によって行われている（表5）。また、近年はワカサギふ化仔魚の生残率向上を目的とした「ワカサギふ化環境整備事業」も実施している。

表5 霞ヶ浦北浦における過去5年の水産資源増殖事業

魚種	年度	H17	H18	H19	H20	H21
	湖内産ワカサギ卵 (百万粒)	霞ヶ浦北浦	911	1,081	749	997
	計	1,145	1,313	979	1,244	1,409
移植ワカサギ卵 (百万粒)	霞ヶ浦北浦	560	-	50	-	-
	計	560	-	50	-	-
ウナギ (kg)	霞ヶ浦北浦	1,840	3,174	2,498	2,504	2,177
	計	2,483	4,056	2,911	2,771	2,451

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

#### (2) 漁場環境保全対策

水質汚濁やヨシなど水生植物の減少、外来魚の繁殖など漁場環境の悪化に対し、県では魚類やエビの繁殖育成の場となる水生植物帯の造成や保全、有用種を食害する外来魚であるアメリカカナマズ（チャネルキャットフィッシュ）やブルーギルの駆除、ハクレンの漁獲回収などの事業を実施している。（表6）

表6 環境保全対策関連事業

事業名	事業主体	事業内容	実績等
漁場環境保全創造事業	茨城県	水産動植物の繁殖保護の場であり、水質浄化にも寄与する水生植物帯の造成	水生植物帯の造成地 H19：行方市矢幡 H20：かすみがうら市加茂 H21：銚田市安塚
環境・生態系保全活動支援事業	地域協議会活動組織	水産資源の保護・培養に重要な役割を果たしているヨシ帯の保全活動の支援	保全活動実施実績 H21：霞ヶ浦3.3ha、北浦2.55ha
有害動植物除去事業	茨城県 (漁連等へ委託)	水産動植物にとって有害な外来魚であるブルーギル、アメリカカナマズの駆除	外来魚の駆除量 H19：霞ヶ浦178トン、北浦 62トン H20：霞ヶ浦126トン、北浦 44トン H21：霞ヶ浦109トン、北浦 38トン
霞ヶ浦北浦漁場環境保全推進費	漁連、漁協等	植物プランクトン食のハクレンの回収	ハクレン回収量 H19：霞ヶ浦 42トン、北浦 18トン H20：霞ヶ浦 28トン、北浦 12トン H21：霞ヶ浦328トン、北浦 89トン ※H21は緊急雇用創出事業交付金を活用

### (3) 少年水産教室

県では、地元小学生に地域産業である漁業や水産加工業を知ってもらい、漁場環境や水産資源の保護への理解促進を図るため、様々な内容の少年水産教室を開催している。

漁業後継者対策で始まった水産教室であるが、近年は自然環境と生態系の保全、漁業文化の伝承、漁獲物の調理・食体験を通じた食育や地元産物の再発見など、水産業のもつ多面的機能に対する要望や意識の高まりを背景に、地域交流や総合学習の一環として季節を問わず、漁協、市町村、学校などの主催で実施する機会が増加し、参加者から好評を得ている。(表7)

**表7 平成20年度水産教室の実績**

日 時	場 所	参 加 者	主 催	協力機関	人 数
H21. 5. 18	美浦村	立教大学附属立教小学校 5年生	美浦村都市農村 交流推進協議会	美浦村漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	120
H21. 7. 3	美浦村	筑波大学 1年生	筑波大学	美浦村漁協 霞ヶ浦北浦水産加工協 内水面水産試験場 霞ヶ浦北浦水産事務所	25
H21. 7. 14	美浦村	美浦村立大谷小学校 5年生	大谷小学校	美浦村安中漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	88
H21. 7. 24	銚田市	銚田市立白鳥西小学校 5年生 銚田市立上島西小学校 5年生	きたうら広域漁協 大洋支部	霞ヶ浦北浦水産事務所	31
H21. 10. 14	行方市	行方市立太田小学校 4・5年生 行方市立大和第三小学校 5・6年生	行方市漁業振興協議会	きたうら広域漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	41
H21. 10. 20	行方市	行方市立羽生小学校 5年生 行方市立玉造西小学校 5年生 行方市立現原小学校 5年生	行方市漁業振興協議会	玉造漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	44
H22. 2. 9	かすみがうら市	かすみがうら市立佐賀小学校 5・6年生	かすみがうら市 佐賀地区公民館	かすみがうら市漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	41
H22. 2. 19	行方市	行方市立大和第一小学校 4・5年生	行方市漁業振興協議会	きたうら広域漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	21
H22. 2. 22	銚田市	銚田市立白鳥西小学校 4年生 銚田市立上島西小学校 4年生	霞ヶ浦北浦水産事務所	きたうら広域漁協	27
H22. 3. 5	稲敷市	稲敷市立高田小学校 4年生	高田小学校	霞ヶ浦漁協 霞ヶ浦北浦水産事務所	29
合計 (延べ人数)					467

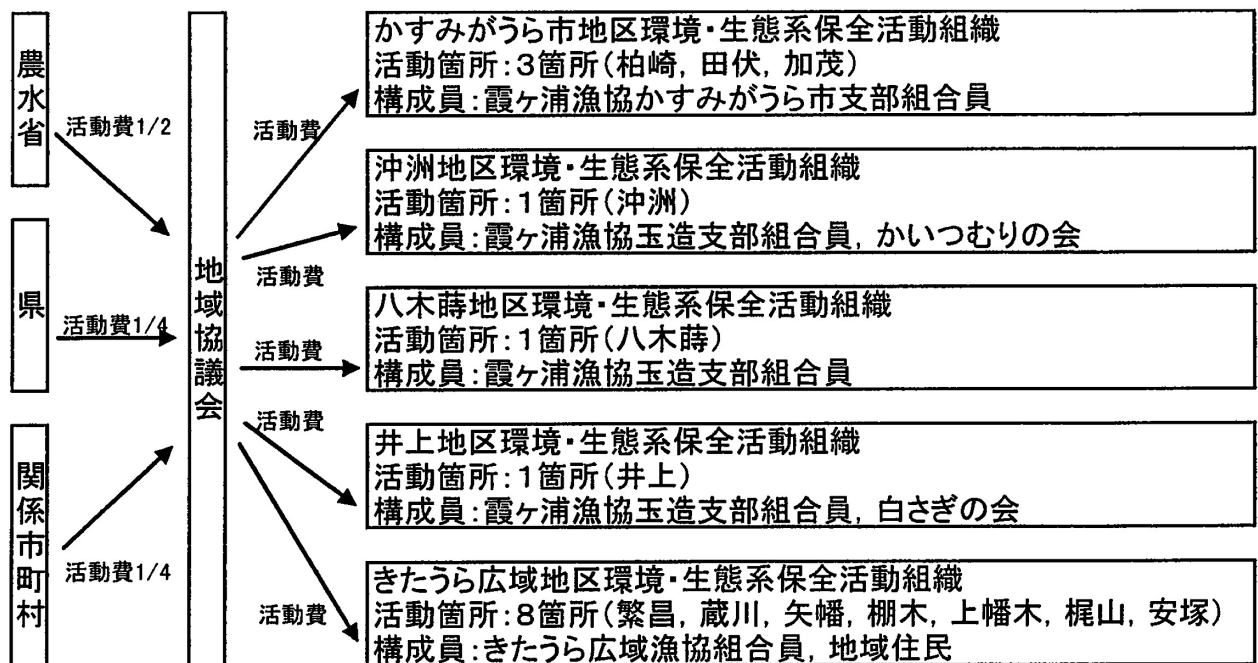
## 霞ヶ浦北浦のヨシ帯を守ろう！ 「環境・生態系保全活動支援事業」がスタート

霞ヶ浦北浦湖岸のヨシ帯は、魚の産卵・育成の場となっているだけでなく、水質浄化などの公益的機能を持っている重要な資源です。

しかし、かつては湖岸に多く見られたヨシ帯が、近年では環境の変化等により少なくなってしまう、現在残っているヨシ帯も年々減少傾向にあります。

そこで、水産庁では平成21年4月に、漁業者や地域住民などが行うヨシ帯の保全活動に対して国・県・関係市町村が交付金により支援する制度、「環境・生態系保全活動支援事業」を新たに創設しました。

初年度の平成21年度には、事業の中心となって保全活動の推進を行う「霞ヶ浦北浦環境・生態系保全対策地域協議会」が設立されました。また、実際にヨシ帯の保全活動を実施する「漁業者を中心とした活動組織」も5つ立ち上がり、かすみがうら市、行方市、銚田市、鹿嶋市の地先で計14箇所、約5.9haのヨシ帯でヨシの刈り取りや保護柵の設置、清掃作業などの保全活動が行われました。



▲環境・生態系保全活動支援事業の仕組み（平成21年度）



▲ヨシの刈り取り（かすみがうら市柏崎）



▲保護柵の設置（行方市矢幡）

## 4 資源管理型漁業の推進

水産資源の有効利用を目的とした資源管理型漁業については、漁業者による自主的な取組みが実践される一方で、県では更なる取組みを推進するため、低迷しているワカサギ資源について、「ワカサギ資源回復計画」を平成18年に作成し、計画の推進を始め、各種の調査研究及び関連の事業を実施している。

### (1) 漁業者による自主的な取組み

平成21年度は次の取組みが実践された。(表8)

表8 平成21年度の自主的な取組み

事 項	地区	目的	内 容	開始年
G W中におけるいさぎ・ごろひき網漁業の自主管理	霞ヶ浦北浦の全地区	ワカサギ・シラウオ稚魚の保護	自主休漁 期間：4/27～5/6	平成10年
トロール解禁前におけるいさぎ・ごろひき網漁業の自主管理		ワカサギ幼魚の保護	操業時間の短縮 日の出から午前11時まで 期間：7/1～7/20	平成9年
トロール漁業における親魚確保措置の実施	北浦地区	ワカサギ親魚の確保	操業時間の短縮 9/10～9/30：午前5:00～午前7:00 10/1～12/9：午前6:00～午前8:00	平成20年 平成21年

### (2) 各魚種ごとの課題

#### ①ワカサギ

- ・わかさぎ・しらうおひき網漁業による漁期前半の漁獲圧力が高く、健全な再生産に必要な親魚を確保できない年があり、そのような場合における漁獲コントロールの措置が課題となっている。
- ・いさぎ・ごろひき網漁業による幼稚魚の混獲が課題となっている。
- ・資源が多い年は、増えた資源の有効活用が課題となっている。

#### ②シラウオ

- ・わかさぎ・しらうおひき網漁業により、単価の安い小型魚が漁期前半に偏って漁獲される傾向があり、成長管理が課題となっている。
- ・いさぎ・ごろひき網漁業による稚魚の混獲が課題となっている。

### (3) 資源管理型漁業の推進体制

#### ①調査研究

県内水面水産試験場を中心に、資源管理対象魚種の資源動向調査や漁場環境調査を実施するとともに、効果的な資源管理方策の研究が行われている。

#### ②啓発普及及び意見交換

資源利用漁業者検討会等を利用し、資源管理に関する啓発普及及び資源管理の方策に関して意見交換を実施している。

#### ③総合的な推進

漁業者や加工業者の代表者、水産行政の長等を構成員とした「霞ヶ浦北浦資源管理型漁業推進協議会」を開催し、資源管理型漁業の諸施策や啓発普及活動を検討する等、総合的に霞ヶ浦北浦における資源管理型漁業を推進している。

### (4) ワカサギ資源回復計画の推進

平成18年7月11日に作成した「霞ヶ浦北浦海区ワカサギ資源回復計画」に基づき、水産関係者と県が一体となって、ワカサギ幼稚魚の混獲防止や資源利用漁業者検討会における親魚確保措置の検討等が行われている。



## 5 漁業制度

霞ヶ浦北浦は、琵琶湖と同様に漁業法による海区指定を受け、海と同じ漁業制度がとられている。

### 1 漁業権漁業

漁業権とは、都道府県知事の免許を受け、一定の水面において排他的に一定の漁業を営む権利であり、「共同漁業権」、「区画漁業権」及び「定置漁業権」の3種類があるが、霞ヶ浦北浦では「共同漁業権」と「区画漁業権」が免許されている。なお、漁業権の免許期間は、10年（特定区画漁業権※及び定置漁業権は5年）となっている。

霞ヶ浦北浦には湖岸帯沿いに雑魚張網漁業を内容とする第2種共同漁業権が18件、こいなど網いけす養殖業を内容とする第1種区画漁業権が16件、真珠養殖業を内容とする第1種区画漁業権が7件免許されている。

### 2 知事許可漁業

知事許可漁業は、小型機船底びき網漁業などのように、漁業法に基づき知事が許可する法定知事許可漁業と、各都道府県ごとに漁業調整規則によって許可する知事許可漁業があり、許可の有効期間はいずれも3年である。

霞ヶ浦北浦では、小型機船底びき網漁業（法定知事許可漁業）1,090件、さし網漁業903件、つけ漁業223件、建網漁業29件、機船船びき網漁業3件、計2,248件が許可されている。

### 3 保護水面、禁漁区

水産資源の保護培養を目的として、一切の水産動植物の採捕を禁止している「保護水面」（霞ヶ浦2ヶ所、北浦2ヶ所）及び「禁漁区」（霞ヶ浦7ヶ所、北浦2ヶ所）が設定されている（「11. 霞ヶ浦北浦の漁場概要図」参照）。

なお、主要漁業の年間操業期間及び漁獲対象種の時期は、表9のとおりである。

表9 霞ヶ浦北浦における主要漁業の操業期間及び漁獲時期

漁業種類	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
いさぎ・ごろひき網漁業 (横ひき網)	1/20 →		3/1 ←									
わかさぎ・しらうおひき網 漁業(トロール網)							7/21 ←					12/10 →
雑魚さし網(掛網)	1/1 ←											12/31 →
しらうおさし網 (しらうお建網)		2月末日 →		4/1 ←	5/15 →						11/1 ←	
ます網(張網漁業)	1/20 →		3/1 ←									
つけ漁業	1/1 ←											12/31 →
【魚種別漁獲時期】												
ワカサギ												
シラウオ												
エビ												
小・中エビ												
大エビ												
ザザエビ												
ゴロ												
イサザアミ												
フナ・コイ												

表10 霞ヶ浦北浦における漁業権の現況

(平成22年3月31日現在)

種 別	免許 件数	漁業の種類	免許満了年月日 (免許期間)	主な漁獲種 (養殖種)
第2種共同漁業権	18件	大型雑魚張網漁業 (行使件数：584件) 小型雑魚張網漁業 (行使件数：1,367件)	H25. 8. 31 (10年)	エビ, ゴロ, ワカサギ, フナ, コイ
第1種区画漁業権	16件	小割式養殖業 (最大行使数：2,015面)	H26. 8. 31 (5年)	(コイ, フナ 等)
	7件	真珠養殖業	H25. 8. 31 (10年)	(淡水真珠)

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

表11 霞ヶ浦北浦における知事許可漁業の現況

(平成22年3月31日現在)

漁業の名称	漁業種類	地方名称	許可件数	許可満了 年月日
小型機船底 びき網漁業	手操第1種漁業	いさぎ・ごろひき網漁業	356件	H24. 2. 29
	手操第3種漁業	しじみかき漁業	150	H22. 9. 30
	打瀬漁業	まんぐわ漁業	95	
	その他の小型機船 底びき網漁業	帆びき網漁業	12	H22. 7. 20
機船船びき 網漁業	こい・ふな機船船 びき網漁業	わかさぎ・しらうおひき 網漁業	477	
	その他の機船船び き網漁業	小大徳網漁業	2	H22. 12. 31
さし網漁業	雑魚さし網漁業	小大徳網漁業	1	
	しらうおさし網漁業	掛網漁業	629	H24. 12. 31
建網漁業	ます網漁業	しらうお建網漁業	274	H24. 8. 31
	おだ漁業	張網漁業	29	H22. 7. 27
つけ漁業	おだ漁業		41	
	笹浸漁業		144	H25. 3. 24
	その他つけ漁業		38	
合 計			2,248件	

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

## トピックス

### 今後の漁業制度のあり方について（県からの提案） ～買い手の要求（ニーズ）に応えるために～

#### 【かつては、どうなっていたのか？（～昭和）】

かつて霞ヶ浦北浦を取り巻く漁業環境は、豊富な資源や旺盛な需要を背景に、多種多様な漁業が営まれ、さらに目覚ましい漁業技術の向上が図られるなど「魚を売ること」が心配のない時代であった。

#### 【今は、どうなっているのか？（平成～）】

近年は、長く低迷する資源量に加え、消費者ニーズの著しい変化や「魚離れ」に象徴される需要の低迷、これに伴う産地価格の低迷や漁業者の減少・高齢化など「魚を売ること」が難しい時代を迎えている。

また一方では、地産地消の推進や国産志向の高まりや水産物を活用した地域振興策の実施など水産資源や地元漁業の存在に期待する動きも出てきており、現在は多くのニーズが複雑かつ流動的に絡み合っている状態であると考えられる。

#### 【では、どうするべきなのか？（今後の方向性）】

こうした現状を踏まえると、これからの漁業は複雑かつ流動的な買い手のニーズに柔軟かつ弾力的に対応できる『漁業制度』とそれを支える『産地体制（漁業者組織）の確立』を軸としながら、限りある資源を有効活用できる仕組みを導入することを今後の方向性とすべきではないかと考えられる。

#### 【どんな漁業制度が必要なのか？（柔軟かつ弾力的な仕組みづくり）】

買い手のニーズに応えられる漁業制度を確立するためには、現行の法令規制による行政主導型から、柔軟な対応が可能な自主規制を主体とした自主管理型へと移行していくことにより、資源や需要の動向を見極めながら産地（生産者）が自らの判断で管理運営することのできる柔軟な漁業制度が必要とされている。

#### 【漁業者はどうするべきか？（生産者から経営者への「意識改革」）】

まずは、漁業者が単なる生産者として「魚を獲ってくる」のではなく、買い手のニーズを意識しながら「売れる魚を獲ってくる（＝売れないものは獲らない）」とする経営者感覚を身につける「意識改革」が必要である。

#### 【どんな産地体制が求められているのか？（漁協を主体とした漁業管理）】

柔軟な漁業制度を実現するためには、漁業者の意識改革に加え、しっかりとした産地体制を確立する必要がある。そのためには、漁協が「産地」として水域全体にとって最も有効な漁業管理方式を実行するため、資源の有効活用のための操業規制や販売対策、並びに組合員の指導監督等に責任を持って取り組む必要がある。

#### 【霞ヶ浦・北浦地区トロール部会がスタート】

これら内容を実現するための第一歩として平成 22 年 6 月に霞ヶ浦、北浦区において漁業者によるトロール部会が発足し、資源や需要の動向、品質などを考え自主的に操業形態を決定する取り組みがスタートしました。今後ともこのような取り組みを発展・拡大していくことが必要かと思われまます。

**買い手のニーズに応える漁業経営に取り組み、限られた資源を最大限に活用して、霞ヶ浦北浦に「儲かる漁業」を実現させよう！**

## 6 水産物流通加工

### (1) 水産加工原料の流通

霞ヶ浦北浦では、現在もワカサギ、シラウオ、エビ類、ハゼ類(ゴロ)が中心に漁獲され、大部分が加工原料として使用されている。当地域には産地卸売市場が存在しないため、大半の漁獲物は漁業者から直接地元の加工業者もしくは相対で流通業者に販売されている。近年、水産加工業者は漁獲量の変動や季節による漁獲物の変化、年間を通じた事業の安定継続等諸々の条件に対応するため、他県産や外国産の原料を導入している。

平成21年の加工原料となる原魚の調達量は全体で3,185トンで、前年に比べ794トン(20%)減少した。

調達先別にみると、県内産のものが983トンで、前年に比べ94トン増加した。

移入原料については、県外産のものが326トンで前年に比べ218トン減少、外国産原料は1,876トンで前年に比べて670トン減少した。

他県産と外国産をあわせた移入原料の使用量は、近年は3,000トン台であったが、平成21年は2,202トンであった(表11-1, 11-2, 11-3)。

### (2) 水産加工業者並びに加工製品の流通

霞ヶ浦北浦で水産加工が始められたのは江戸時代末期で、当時は煮干の製造が主流であったといわれている。また、代表的な水産加工品である佃煮については、明治の初めに東京から製法が導入され、当地域で盛んに製造されるようになったと伝えられている。

水産加工品はその後も、当地域の加工業者の手によって使用原料の選定や加工方法の開発、改良が進められてきた結果、当地域の特産物としての地位を確立し、現在に至っている。

当地域には水産加工業協同組合が5団体と同連合会1団体が存在したが、平成17年8月1日にそれらが合併し、1つの組合となった。平成22年3月末時点における組合員数は61人である。最近10年間の業者数は、転業や廃業により漸減傾向にある。

平成21年の従事者数別の事業所数をみると、5人以下の経営体が30経営体、次いで6~10人層が17経営体となっている(図7)。

総従事者数は417人で、このうち常時雇用者数は367人、臨時雇用者数は50人であった。(表12-1, 表12-2)

当地域における水産加工業経営の動向をみると、自ら加工した製品を自己店舗により販売する業者のほか、加工よりも販売を重点的に行っている業者や、大量に原料を確保して加工を行い各地に向けて出荷している業者など、事業形態が多様化、分業化しつつある。

当地域における加工生産量は従来増加傾向にあったが、平成5年をピークに数量及び金額ともに減少し、平成13年以降は数量で約4千トン、金額で35億円程度で推移しており、平成21年は次のとおりである。

#### ◆水産加工品販売量(図8, 表13-1, 表13-2)

平成21年の水産加工品の総販売量は3,911トンで、前年に比べて298トン(7%)減少した。

種類別にみると、佃煮類が最も多く2,298トンで前年に比べて89トン減少、次いで煮干し類が430トンで前年に比べて241トン減少した。続いて焼き物104トン、うなぎ加工品31トンとなっている。

#### ◆水産加工品販売額(表13-1, 表13-2)

総販売額は3,436百万円で288百万円(8%)減少した。

種類別にみると、佃煮類が最も多く2,009百万円で前年より175百万円減少した。次いで煮干し類が476百万円で前年に比べて116百万円減少しており、続いて焼き物類159百万円、うなぎ加工品117百万円であった。

#### ◆買取販売(表14)

買取販売は他の水産加工業者が製造した製品を仕入れて販売するもので、加工販売の集計は製造者が販売者に出荷する段階で行うことになるので、重複を防ぐために加工販売とは別に集計した。

販売量を種類別にみると、煮干し類156トン、佃煮類が44トン、焼き物類が9トン、うなぎ加工品が1トンとなっている。

販売額を種類別にみると、煮干し類109百万円、佃煮類63百万円、焼き物類12百万円、うなぎ加工品4百万円となっている。

水産加工業者及び加工組合は、水揚げされる魚種の変化や多様化する消費者ニーズに対応した様々な新製品の開発を行うとともに、各地で行われている催事への出品や県内外の量販店等におけるPR活動などを行い、消費の拡大に努めている。また、水産加工品の特産品としての銘柄化を図るため、当地域の多くの水産加工品が茨城県水産物開発普及協会が主催している水産加工優良産品推奨品の認定を受けており(現在71件、認定から5年間有効)、いばらきの味キャッチフレーズ「うまいもんどころ」と一体になり銘柄化を推進している。

平成18年度からは、本県水産物に対する理解の促進と消費拡大及び本県産水産物のイメージアップを図るために「いばらきの地魚取扱店認証制度」が創設され、霞ヶ浦北浦地区では24件(平成22年4月1日現在)の小売店等が認証されている。

#### (3) 生鮮魚、養殖魚の流通

霞ヶ浦北浦の漁獲物は加工の他に鮮魚としても流通しておりワカサギ、シラウオ、エビ等が市場に出荷されている。

平成21年の活魚・鮮魚の総販売量は148.9トンで、前年に比べ56.8トン増加した。総販売額は129百万円で、前年に比べて11百万円減少した。(表15-1、表15-2)

養殖魚については、ヘラブナ、アメリカナマズ等があり、大部分は養殖業者自身によって県外に活魚出荷されているが、アメリカナマズは平成17年6月に特定外来生物に指定されたため、活魚での出荷は国の許可を受けた業者間のみとなっている。

また、コイについては、平成15年11月以降はKHV病により養殖が休止中であったが、平成18年12月には、内水面水産試験場における試験の結果を受け、あらい、切り身等の販売が可能となったことに加え、平成21年4月に条件付養殖再開となったことにより、徐々に天然コイを使った商品の小売店等での販売が増加している。

#### ◆水産物流通加工に関するデータについての留意事項

- ・調査対象：霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合の平成21年1月時点の組合員63経営体
- ・集計経営対数：58経営体(回答があった56経営体と平成20年並みの実績があった2経営体合わせて58経営体。ただし、そのうち4経営体は休業等)
- ・調査対象期間：平成21年1月1日から平成21年12月31日まで。
- ・焼き物類は取引の慣習に合わせ「串」単位で調査し、下記の基準により重量換算した。

※ 平成14年まではすべて100串=1kgで換算

(基準) すずめ焼 50串=1kg 焼わかさぎ 30串=1kg  
鬼がら焼 90串=1kg その他の串焼 50串=1kg

表11-1 平成20年魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	45.0	7.2	1,170.6	1,177.8	1,222.8	96.3%
しらうお	48.1	1.0	174.7	175.7	223.8	78.5%
ごろ(はぜ類)	109.4	0.0	127.6	127.6	237.0	53.8%
あみ	131.6	247.0	0.0	247.0	378.6	65.2%
えび	333.7	0.0	250.8	250.8	584.5	42.9%
ふな	3.9	25.3	20.6	45.9	49.8	92.2%
うなぎ	6.9	28.5	0.4	28.9	35.8	80.7%
その他	211.0	234.8	801.1	1,035.9	1,246.9	83.1%
<b>合計</b>	<b>889.6</b>	<b>543.8</b>	<b>2,545.8</b>	<b>3,089.6</b>	<b>3,979.2</b>	<b>77.6%</b>
平成19年実績	721.0	486.0	2,865.2	3,351.2	4,072.2	82.3%

表11-2 平成21年魚種別加工原料調達状況

(単位：トン)

区分 魚種	県内産	移入原料			合計	移入比率
		県外産	外国産	小計		
わかさぎ	100.8	0.5	1,201.4	1,201.9	1,302.7	92.3%
しらうお	75.0	0.0	212.2	212.2	287.2	73.9%
ごろ(はぜ類)	80.5	0.0	119.6	119.6	200.1	59.8%
あみ	132.7	235.0	0.0	235.0	367.7	63.9%
えび	313.3	0.0	251.5	251.5	564.8	44.5%
ふな	0.6	26.4	28.3	54.7	55.3	98.9%
うなぎ	14.3	42.3	10.5	52.8	67.1	78.7%
その他	266.2	21.3	52.6	73.9	340.1	21.7%
<b>合計</b>	<b>983.4</b>	<b>325.5</b>	<b>1,876.1</b>	<b>2,201.6</b>	<b>3,185.0</b>	<b>69.1%</b>
平成20年実績	889.6	543.8	2,545.8	3,089.6	3,979.2	77.6%

表11-3 移入原料の推移

(単位：トン)

魚種	年									
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
わかさぎ	1,153	1,366	1,089	1,288	976	513	716	1,251	1,178	1,202
しらうお	347	379	381	406	139	207	204	180	176	212
ごろ(はぜ類)	367	276	239	175	235	193	187	232	128	120
あみ	668	623	621	495	174	144	208	196	247	235
えび	465	382	563	455	411	327	315	321	251	252
ふな	274	123	108	83	89	72	65	66	46	55
うなぎ	56	45	103	71	68	95	65	39	29	53
その他	1,255	1,322	1,587	601	872	1,580	1,543	1,066	1,036	74
<b>合計</b>	<b>4,585</b>	<b>4,516</b>	<b>4,691</b>	<b>3,574</b>	<b>2,964</b>	<b>3,129</b>	<b>3,302</b>	<b>3,351</b>	<b>3,090</b>	<b>2,202</b>
* 全体比	69.8%	83.6%	88.3%	87.2%	72.6%	82.5%	87.0%	82.3%	77.6%	69.1%

\* 全体比は当該年における加工原料全体のうち、移入原料の占める割合を示している。

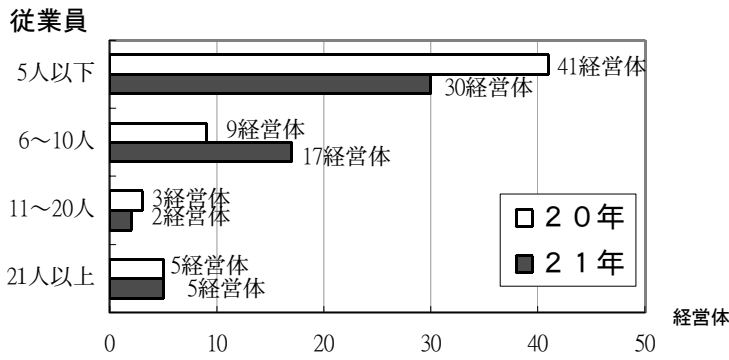


図7 従事者数別事業所数比較<対前年>

表12-1 平成21年加工業従事者の構成 (単位:人)

区分	常時雇用								臨時雇用		合計 (a+b+c+d)
	男子				女子				男子 (c)	女子 (d)	
	~39歳	40~59歳	60~歳	小計(a)	~39歳	40~59歳	60~歳	小計(b)			
土浦	1	6	2	9	0	5	6	11	0	0	20
かすみがうら	23	17	9	49	36	78	25	139	4	15	207
霞ヶ浦	7	17	10	34	7	44	11	62	10	6	112
湖南	4	3	2	9	3	5	10	18	2	2	31
北浦	1	4	3	8	2	12	14	28	2	9	47
合計	36	47	26	109	48	144	66	258	18	32	417

(注) ・常時雇用:1年以上の期間にわたり継続して雇用される者。家族を含み経営者を除く。  
 ・臨時雇用:継続して雇用される期間が1年未満の者、又は日々雇用される者。

表12-2 加工業従事者数の推移 (単位:人)

区分	年	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21
		常時	男子	129	128	132	126	119	116	115	110
	女子	279	277	244	232	238	244	242	240	247	258
	小計	408	405	376	358	357	360	357	350	357	367
臨時	男子	26	11	16	15	13	10	19	14	15	18
	女子	61	52	62	77	75	54	46	63	42	32
	小計	87	63	78	92	88	64	65	77	57	50
合計	男子計	155	139	148	141	132	126	134	124	125	127
	女子計	340	329	306	309	313	298	288	303	289	290
	合計	495	468	454	450	445	424	422	427	414	417

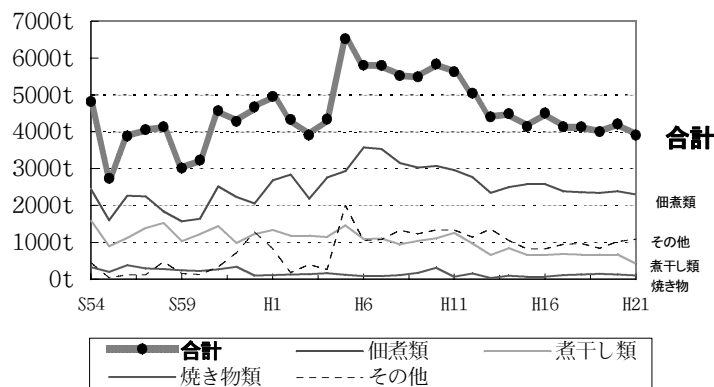


図8 加工販売量の推移

表13-1 加工販売量・販売額の推移

(単位：上段 トン、下段 千円)

種類	年	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21
		数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量	数量
わかさぎ煮干	数量	62.3	49.3	42.3	53.0	38.3	40.7	48.0	59.9	40.7	91.6
	金額	171,543	129,544	116,445	154,410	119,534	117,468	128,605	159,640	117,468	200,637
しらうお煮干	数量	56.8	88.3	88.5	106.2	58.9	78.8	60.5	63.0	78.8	60.6
	金額	190,240	289,228	267,170	319,706	202,405	239,719	182,730	152,400	239,719	160,801
あみ煮干	数量	368.6	93.8	194.3	223.8	287.9	213.7	272.5	249.5	213.7	95.6
	金額	84,260	32,255	48,052	44,990	60,740	45,515	54,400	48,090	45,515	17,725
えび煮干	数量	464.5	329.6	514.7	281.5	378.5	325.7	288.1	281.3	325.7	171.4
	金額	224,285	170,600	271,150	149,105	215,102	178,002	133,971	167,138	178,002	87,193
その他の煮干	数量	16.3	101.0	5.0	0.0	4.0	12.1	1.0	16.5	12.1	10.6
	金額	7,440	50,440	2,060	40	2,617	11,075	1,015	4,373	11,075	9,350
煮干計	数量	968.5	662.0	844.8	664.5	767.6	671.0	670.1	670.2	671.0	429.8
	金額	677,768	672,067	704,877	668,251	600,398	591,779	500,721	531,641	591,779	475,706
わかさぎ佃煮	数量	424.5	427.4	324.3	424.0	406.3	379.1	329.9	318.3	379.1	329.2
	金額	704,235	591,140	526,480	587,220	560,550	458,112	442,480	421,900	458,112	378,730
しらうお佃煮	数量					50.6	40.5	103.5	36.5	40.5	20.7
	金額					67,100	63,000	159,000	54,350	63,000	38,470
はげ佃煮	数量	253.0	202.9	228.3	198.5	350.6	162.3	176.7	239.5	162.3	112.5
	金額	260,121	215,940	265,570	215,180	320,415	182,280	191,355	306,966	182,280	141,520
あみ佃煮	数量	507.8	520.5	551.3	327.2	266.3	284.3	403.9	339.7	284.3	287.1
	金額	295,400	282,788	322,174	197,735	173,448	176,848	210,670	181,425	176,848	172,264
えび佃煮	数量	383.5	311.4	327.9	326.4	248.8	237.1	325.9	372.6	237.1	312.8
	金額	312,326	249,863	281,070	267,200	221,598	202,175	266,235	298,810	202,175	260,636
ふな佃煮	数量	31.9	37.2	27.8	39.5	16.0	25.8	23.6	25.0	25.8	25.9
	金額	50,095	60,227	40,430	42,260	22,886	31,380	32,290	42,900	31,380	27,610
その他の佃煮	数量	1,163.4	847.6	1,035.7	1,269.8	1,120.5	1,257.7	1,001.1	1,012.7	1,257.7	1,209.6
	金額	1,177,230	654,850	804,898	1,044,069	937,859	1,070,190	875,150	908,800	1,070,190	990,000
佃煮計	数量	2,764.1	2,347.0	2,495.3	2,585.4	2,459.1	2,386.8	2,364.6	2,344.3	2,386.8	2,297.8
	金額	2,799,407	2,054,808	2,240,622	2,353,664	2,303,856	2,183,985	2,177,180	2,215,151	2,183,985	2,009,230
すずめ焼き	数量	7.7	2.2	3.1	11.8	10.9	3.6	10.2	8.7	3.6	3.2
	金額	28,230	7,930	10,332	15,194	8,601	5,442	15,279	9,835	5,442	4,748
焼わかさぎ	数量	103.1	9.7	35.8	34.9	46.2	77.4	52.5	113.4	77.4	59.3
	金額	195,501	90,178	122,160	39,650	32,645	79,220	46,040	115,209	79,220	64,336
鬼がら焼	数量	48.4	15.7	42.2	17.4	27.3	32.6	47.6	25.6	32.6	23.8
	金額	144,932	43,052	126,069	46,455	46,830	73,888	91,025	60,157	73,888	71,213
その他焼物	数量	3.2	5.9	12.2	4.5	9.2	17.7	20.1	1.4	17.7	17.7
	金額	6,430	32,150	33,786	11,475	14,376	18,800	22,219	2,014	18,800	18,900
焼物計	数量	162.4	33.5	93.3	68.6	93.6	131.3	130.4	149.1	131.3	104.0
	金額	375,093	173,310	292,347	112,774	102,452	177,350	174,563	187,215	177,350	159,197
うなぎ加工品	数量	42.6	45.0	32.4	67.7	76.6	29.0	65.2	57.4	29.0	30.6
	金額	112,080	135,050	87,500	184,100	211,880	115,455	146,600	180,790	115,455	117,455
その他	数量	1,106.7	1,315.1	1,020.0	757.5	1,113.3	990.6	904.0	780.0	990.6	1,048.3
	金額	466,750	1,197,200	912,900	607,800	766,150	655,822	688,160	556,200	655,822	674,662
その他計	数量	1,149.3	1,360.1	1,052.4	825.2	1,189.9	1,019.6	969.2	837.4	1,019.6	1,078.9
	金額	578,830	1,332,250	1,000,400	791,900	978,030	771,277	834,760	736,990	771,277	792,117
合計	数量	5,044.3	4,402.6	4,485.8	4,143.7	4,510.2	4,208.7	4,134.3	4,001.0	4,208.7	3,910.5
	金額	4,431,098	4,232,435	4,238,246	3,926,589	3,984,736	3,724,391	3,687,224	3,670,997	3,724,391	3,436,250

- (注) 1 釜揚げは煮干しの中に、甘露煮は佃煮の中を含める。  
2 わかさぎ筏焼は焼きわかさぎの中を含める。  
3 うなぎ加工品は平成10年から個別調査、以前はその他焼きもの、もしくはその他に含まれている。



表13-2 平成21年 加工販売量・販売額

(単位:上段トン,下段千円)

種 類	支 部 名	土 浦	八 木 川	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比 率
		数量	金額	数量	金額	数量		
わかさぎ煮干	数量	0.5	49.0	25.1	6.5	10.5	91.6	2.3%
	金額	1,000	128,972	31,950	16,550	22,165	200,637	5.8%
しらうお煮干	数量	0.2	32.4	13.0	4.6	10.3	60.6	1.5%
	金額	400	91,601	30,045	16,650	22,105	160,801	4.7%
あみ煮干	数量		72.0	0.6	1.0	22.0	95.6	2.4%
	金額		14,700	325	600	2,100	17,725	0.5%
えび煮干	数量	0.1	140.2	22.9	2.6	5.6	171.4	4.4%
	金額	468	70,200	10,680	3,420	2,425	87,193	2.5%
その他の煮干	数量		10.0	0.5		0.1	10.6	0.3%
	金額		9,000	250		100	9,350	0.3%
煮 干 計	数量	0.8	303.6	62.1	14.7	48.5	429.8	11.0%
	金額	1,868	314,473	73,250	37,220	48,895	475,706	13.8%
わかさぎ佃煮	数量	2.2	270.2	29.6	6.2	21.0	329.2	8.4%
	金額	7,700	257,400	64,800	14,850	33,980	378,730	11.0%
しらうお佃煮	数量		11.0	6.5	2.1	1.1	20.7	0.5%
	金額		14,000	11,620	10,500	2,350	38,470	1.1%
は ぜ 佃 煮	数量		72.5	22.3	11.2	6.5	112.5	2.9%
	金額		84,830	28,720	20,680	7,290	141,520	4.1%
あみ佃煮	数量	0.7	257.5	18.1	1.3	9.5	287.1	7.3%
	金額	1,330	151,464	13,020	1,250	5,200	172,264	5.0%
えび佃煮	数量	1.6	260.9	32.9	11.3	6.1	312.8	8.0%
	金額	4,000	214,257	27,260	10,110	5,009	260,636	7.6%
ふな佃煮	数量		12.0	10.5	0.7	2.7	25.9	0.7%
	金額		12,000	10,100	1,860	3,650	27,610	0.8%
その他の佃煮	数量	0.6	1,030.0	105.0	62.0	12.0	1,209.6	30.9%
	金額	1,500	817,500	115,000	41,000	15,000	990,000	28.8%
佃 煮 計	数量	5.1	1,914.1	224.9	94.8	58.9	2,297.8	58.8%
	金額	14,530	1,551,451	270,520	100,250	72,479	2,009,230	58.5%
すずめ焼き	数量	0.0	2.0	1.0	0.1		3.2	0.1%
	金額	92	3,000	1,500	156		4,748	0.1%
焼わかさぎ	数量		53.6	4.4		1.3	59.3	1.5%
	金額		57,419	5,317		1,600	64,336	1.9%
鬼がら焼	数量	0.0	21.7	1.6	0.5		23.8	0.6%
	金額	93	64,450	5,000	1,670		71,213	2.1%
その他焼物	数量			17.7			17.7	0.5%
	金額			18,900			18,900	0.6%
焼 物 計	数量	0.0	77.3	24.7	0.6	1.3	104.0	2.6%
	金額	185	124,869	30,717	1,826	1,600	159,197	4.6%
うなぎ加工品	数量	13.2	4.0	12.4	1.0		30.6	0.8%
	金額	58,670	12,000	43,285	3,500		117,455	3.4%
そ の 他	数量	6.7	880.0	15.6		146.0	1,048.3	26.8%
	金額	8,040	617,500	12,132		36,990	674,662	19.6%
そ の 他 計	数量	19.9	884.0	28.0	1.0	146.0	1,078.9	27.6%
	金額	66,710	629,500	55,417	3,500	36,990	792,117	23.0%
合 計	数量	25.9	3,179.0	339.6	111.1	254.7	3,910.5	100.0%
	金額	83,293	2,620,293	429,904	142,796	159,964	3,436,250	100.0%

表14 平成21年 買取販売量・販売額

(単位：上段 トン、下段 千円)

種 類	支 部 名	土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比 率
わかさぎ煮干	数量	1.0	35.0	2.4	0.1	1.7	40.2	18.4%
	金額	3,600	57,500	5,250	300	5,500	72,150	37.4%
しらうお煮干	数量	0.7	-	0.6	0.1	0.9	2.3	1.1%
	金額	2,200	-	800	240	3,780	7,020	3.6%
あみ煮干	数量	-	100.0	6.0	-	-	106.0	48.4%
	金額	-	20,000	3,450	-	-	23,450	12.1%
えび煮干	数量	0.1	-	0.9	-	5.5	6.5	3.0%
	金額	200	-	880	-	3,575	4,655	2.4%
その他の煮干	数量	0.7	-	-	-	-	0.7	0.3%
	金額	2,100	-	-	-	-	2,100	1.1%
煮 干 計	数量	2.5	135.0	9.9	0.2	8.1	155.7	71.1%
	金額	8,100	77,500	10,380	540	12,855	109,375	56.6%
わかさぎ佃煮	数量	0.6	4.0	1.3	2.4	-	8.3	3.8%
	金額	2,400	6,000	3,700	660	-	12,760	6.6%
しらうお佃煮	数量	-	-	0.4	-	-	0.4	0.2%
	金額	-	-	1,150	-	-	1,150	0.6%
はぜ佃煮	数量	1.1	-	1.6	0.3	1.0	4.0	1.8%
	金額	2,350	-	3,900	360	1,000	7,610	3.9%
あみ佃煮	数量	0.2	-	4.1	0.4	-	4.7	2.2%
	金額	200	-	4,460	260	-	4,920	2.6%
えび佃煮	数量	1.6	-	1.9	0.2	2.0	5.7	2.6%
	金額	1,760	-	5,050	180	2,300	9,290	4.8%
ふな佃煮	数量	0.4	5.0	0.3	0.2	1.0	6.9	3.2%
	金額	580	7,000	800	300	1,500	10,180	5.3%
その他の佃煮	数量	-	-	12.8	-	1.0	13.8	6.3%
	金額	-	-	15,600	-	1,500	17,100	8.9%
佃 煮 計	数量	3.9	9.0	22.4	3.5	5.0	43.8	20.0%
	金額	7,290	13,000	34,660	1,760	6,300	63,010	32.6%
すずめ焼き	数量	-	-	0.1	-	-	0.1	0.1%
	金額	-	-	320	-	-	320	0.2%
焼わかさぎ	数量	2.1	5.0	-	-	-	7.1	3.2%
	金額	3,930	4,500	-	-	-	8,430	4.4%
鬼がら焼	数量	0.0	1.1	0.1	-	-	1.3	0.6%
	金額	120	2,800	360	-	-	3,279	1.7%
その他焼物	数量	-	-	-	-	-	0.0	0.0%
	金額	-	-	-	-	-	0	0.0%
焼 物 計	数量	2.1	6.1	0.2	-	-	8.5	3.9%
	金額	4,050	7,300	680	-	-	12,029	6.2%
うなぎ加工品	数量	0.7	-	0.5	-	-	1.2	0.6%
	金額	3,100	-	600	-	-	3,700	1.9%
そ の 他	数量	-	-	-	10.0	-	10.0	4.6%
	金額	-	-	-	5,000	-	5,000	2.6%
そ の 他 計	数量	0.7	-	0.5	10.0	-	11.2	5.1%
	金額	3,100	-	600	5,000	-	8,700	4.5%
合 計	数量	9.2	150.1	32.9	13.7	13.1	219.0	100.0%
	金額	22,540	97,800	46,320	7,300	19,155	193,114	100.0%

表15-1 平成20年魚種別活魚・鮮魚販売実績

(単位:上段トン, 下段 千円)

魚種	支部名		土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比率 (%)
	数量	金額							
わかさぎ	数量	1.0		0.4	8.4		0.8	10.6	11.5%
	金額	1,000		1,100	63,050		750	65,900	47.0%
しらうお	数量			2.3	8.7		1.6	12.6	13.7%
	金額			3,550	9,050		1,900	14,500	10.4%
え び	数量				4.7			4.7	5.1%
	金額				3,650			3,650	2.6%
ふ な	数量				7.0		0.8	7.8	8.5%
	金額				2,700		480	3,180	2.3%
どじょう	数量				5.9			5.9	6.4%
	金額				17,100			17,100	12.2%
こ い	数量							0.0	0.0%
	金額							0	0.0%
うなぎ	数量	27.1			17.1		0.5	44.7	48.5%
	金額	500			33,080		410	33,990	24.3%
あ ゆ	数量				0.1			0.1	0.1%
	金額				400			400	0.3%
アメリカナマス	数量						0.7	0.7	0.8%
	金額						1,050	1,050	0.7%
その他	数量						5.0	5.0	5.4%
	金額						306	306	0.2%
合 計	数量	28.1	2.7	51.9	0.5	8.9		92.1	100.0%
	金額	1,500	4,650	129,030	410	4,486		140,076	100.0%

表15-2 平成21年魚種別活魚・鮮魚販売実績

(単位:上段トン, 下段 千円)

魚種	支部名		土 浦	かすみがうら	霞ヶ浦	湖 南	北 浦	合 計	比率 (%)
	数量	金額							
わかさぎ	数量	0.5		30.5	47.8	3.0	1.1	82.9	55.7%
	金額	250		15,500	34,676	2,100	550	53,076	41.2%
しらうお	数量			1.0	10.5		1.2	12.7	8.5%
	金額			1,000	10,178		1,220	12,398	9.6%
え び	数量				4.6			4.6	3.1%
	金額				4,750			4,750	3.7%
ふ な	数量				4.6			4.6	3.1%
	金額				2,664			2,664	2.1%
どじょう	数量				5.1			5.1	3.4%
	金額				6,000			6,000	4.7%
こ い	数量							0.0	0.0%
	金額							0	0.0%
うなぎ	数量				12.4	0.5		12.9	8.7%
	金額				37,100	410		37,510	29.1%
あ ゆ	数量							0.0	0.0%
	金額							0	0.0%
アメリカナマス	数量							0.0	0.0%
	金額							0	0.0%
その他	数量				6.2		20.0	26.2	17.6%
	金額				4,340		8,000	12,340	9.6%
合 計	数量	0.5	31.5	91.2	3.5	22.3		148.9	100.1%
	金額	250	16,500	99,708	2,510	9,770		128,738	100.0%

## 水産物地産地消推進員がコイとワカサギをPRしました

霞ヶ浦漁業協同組合（薄井征記組合長）が失業者等を水産物地産地消推進員として雇い入れ、農産物直売所において地元水産物の試食・販売を行って消費拡大を図る「水産物地産地消推進員設置事業」が平成22年2月中旬から3月下旬の1ヶ月半にわたり行われました。

試食・販売した地元水産物は、養殖が再開されたコイと、平成21年に霞ヶ浦において豊漁となり新たな販路拡大が望まれているワカサギです。場所は「直売所ふきのとう（行方市次木）」「行方市観光物産館こいこい（同市玉造甲）」「JA土浦さんふれはすの里（土浦市木田余）」の3カ所で、前半（2月13日～3月5日）がコイ、後半（3月6日～3月26日）がワカサギの試食販売を各直売所で1週間毎に行いました。

試食の形態として、コイは竜田揚げ、ワカサギは唐揚げとし、店頭にてフライヤー（ガス式油揚げ機）で調理し来店者にできたてを味わってもらいました。販売の形態として、コイは竜田揚げ用に味付けした切り身の真空パック（120g入り270円）、ワカサギはパック詰め（350g入り500円）を、いずれも冷凍した状態で販売しました。



水産物地産地消推進員として雇われたのは、つくば市、かすみがうら市、土浦市に住む30～50代の女性計6名で、2人1組のペアになり交代で業務に当たりました。

試食・販売の評判は良好で、生や冷凍という形態での地元水産物の販売拡大の足がかりを得ることができました。

## 7 漁船と漁港・船溜り

### (1) 漁船

霞ヶ浦北浦における平成21年12月31日現在の漁船登録隻数は、1,137隻であり、そのうち1,123隻(99%)が動力漁船となっている(表16)。

動力漁船のトン数階層別の構成をみると、0~1トン未満船が490隻(44%)、1~3トン未満船が599隻(53%)で、3トン未満船がほとんどである。

また、動力漁船の船質については、1,047隻(93%)がFRP船であり、残り74隻(7%)が木船、2隻が鋼船である。

表16 霞ヶ浦北浦のトン数階層別動力漁船隻数 (単位：隻)

年 トン数	H17	H18	H19	H20	H21
1トン未満	605	597	578	539	490
1~3トン未満	699	684	666	635	599
3~5トン未満	42	39	38	37	34
合計	1,346	1,320	1,282	1,211	1,123

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

### (2) 漁港・港湾・船溜り

霞ヶ浦北浦における漁港は、第1種漁港が霞ヶ浦に10箇所、北浦に1箇所合計11箇所ある。ほかに、港湾が2箇所と大小様々な船溜りが数多く存在している(表17)。

表17 漁港，港湾，船溜りの概要 (単位：箇所)

	漁港	港湾	舟溜り
霞ヶ浦	10	1	80
北浦 他	1	1	70
計	11	2	150

(霞ヶ浦北浦水産事務所，(独)水資源機構資料)

## 8 水産業団体及び組合員

### (1) 組合員

霞ヶ浦北浦地域における漁業協同組合の組合員は、平成21年度末現在で霞ヶ浦地区が1,075人、北浦地区が442人の1,517人となっている。(表18)。

漁業形態は小型機船底びき網、さし網、張網等の漁船漁業が中心となっている。また、業種別は小割式養殖漁協があり、組合員数は52人である。

これら漁業者の大多数は小規模経営で、多くは農業や他産業との兼業であり、全体的に高齢化が進むとともに漁業者数は年々減少しており、漁業経営の安定化、後継者の確保が今後の課題となっている。

また、水産加工業協同組合の組合員は平成21年度末で61人であり、一部の組合員は漁業との兼業経営を行っている。

### (2) 水産業協同組合

#### ① 概況

昭和24年の水産業協同組合法施行に伴い、霞ヶ浦に27、北浦に14の地区漁業協同組合（以下「地区漁協」という。）が設立された。その後漁協合併が進められ、平成21年度末における地区漁協は霞ヶ浦地区が3組合、北浦地区が2組合となっている。このうち、北浦地区では、平成14年度に県内初の広域合併漁協としてきたうら広域漁協が設立され霞ヶ浦地区でも平成20年度から合併の協議が進展し、平成22年1月に14漁協が合併して霞ヶ浦漁業協同組合が誕生した。この他に、業種別漁業協同組合（以下「業種別漁協」という。）が1組合、水産加工業協同組合（以下「水産加工協」という。）が1組合ある。業種別漁協は、これまで2組合が存在したが、一方の真珠養殖漁業協同組合が平成21年1月に解散している。また、水産加工協は、平成17年8月1日に従来の5加工協が合併して1つになったものである。

また、霞ヶ浦地区において、地区漁協の指導的役割を果たしてきた霞ヶ浦漁業協同組合連合会は、平成22年7月22日付けの認可及び登記により、霞ヶ浦漁協にその権利義務が包括承継された。

表18 水産業協同組合の推移(平成21年度総会終了時)

		組 合 数					組 合 員 数 (人)				
		H17	H18	H19	H20	H21	H17	H18	H19	H20	H21
単 協	霞ヶ浦地区漁協	16	16	16	16	3	1,422	1,353	1,286	1,236	1,075
	北浦地区漁協	2	2	2	2	2	557	533	513	480	442
	業種別漁協	2	2	2	1	1	71	71	70	52	52
	水産加工協	1	1	1	1	1	74	69	68	63	61
	計	21	21	21	20	7	2,124	2,026	1,937	1,831	1,630
連 合 会		1	1	1	1	1	20	15	15	15	1

(霞ヶ浦北浦水産事務所資料)

## ② 事業状況

ほとんどの漁協は指導事業（漁業権管理等）及び利用事業（捲揚機・ホイストの利用）を主体として実施しており、特に、ワカサギの人工ふ化放流事業に力を入れている。これら漁協のうち、販売及び購買事業を行っているのは2組合（地区漁協1、業種別漁協1）である。

水産加工協は、加工業者間の連絡、情報交換等を行うとともに、県内外の催事に参加しての展示即売会など製品の販路拡大に努めている。

## ③ 漁協合併

霞ヶ浦及び北浦地区においては、平成元年から1市町村1漁協を目標として、合併計画が進められてきたが、平成8年12月に全漁連が1県1漁協の方針を打ち出し、水産庁の主導のもと、本県においては、沿海、霞ヶ浦、北浦の各地区で漁協一本化を行うため、平成10年3月に「茨城県漁協経営強化基本方針」を、平成14年3月には「茨城県漁協組織・事業基盤強化基本方針」を策定した。

これらの基本方針を受けて、霞ヶ浦及び北浦地区では平成18年度を目標に両地区の漁連が主体となり、広域合併に向けた作業を進めた結果、北浦地区においては平成13年12月に北浦漁連と6漁協（麻生町大和、北浦村、銚田町、大洋、大野北浦、鹿島の各漁協）による合併の基本合意に至り、平成14年6月1日に「きたうら広域漁業協同組合」が設立された。

北浦地区には、このほかに潮来漁協があるが、北浦地区1漁協に向けて引き続き協議を続けることとしている。

一方、霞ヶ浦地区においても、霞ヶ浦漁連傘下の15漁協が合併の協議を進めてきた結果、麻生漁協以外の14漁協が合併に合意し、平成21年9月の合併仮契約締結と各組合の総会議決の後、平成22年1月15日の県の認可及び22日の登記を経て「霞ヶ浦漁業協同組合」が設立された。

同漁協の合併に先だって麻生漁協が霞ヶ浦漁連を脱退し、会員が1つになったことで同漁連の権利義務を合併漁協が包括承継できる条件が整ったため、両者の総会決議を経て平成22年7月22日付けの認可及び登記により承継が成立した。

今回合併に参加しなかった漁協についても、最終的に霞ヶ浦地区1漁協を目標に協議を進めることとしている。

## ④ 加工協合併

昭和26～45年に霞ヶ浦北浦地区に5つの水産加工業協同組合が設立され、それらの組合が当初任意団体として組織した連合会が昭和58年に水産業協同組合法に基づく水産加工業協同組合連合会となり長らく活動してきたが、当該連合会が中心となり、平成15年6月から進めていた5加工協（土浦、かすみがうら市、霞ヶ浦、霞ヶ浦湖南、北浦加工協）の合併に向けた協議が合意に至り、平成17年8月11日付で「霞ヶ浦北浦水産加工業協同組合」が設立され、霞ヶ浦北浦地区唯一の加工組合となった。

### (3) その他の団体

#### ① 霞ヶ浦北浦水産振興協議会

霞ヶ浦北浦沿岸市町村と漁協及び加工協を会員とし、地元水産業団体と市町村の連携を円滑にして、霞ヶ浦北浦の水産業の振興を図るため次の各種事業活動を行っている。

啓発指導事業…………… 霞ヶ浦北浦の水産資源の保護育成や水産物の消費拡大のため必要な事業に対する経費の一部助成など

教育広報事業…………… 機関誌「霞北水産だより」及び協議会ホームページ作成による水産に関する情報提供や、小学生などを主対象とした啓発資料作成など

#### ② 財団法人霞ヶ浦漁業振興基金協会

県と霞ヶ浦漁連とが出資して設立（昭和55年 7月22日認可）し、霞ヶ浦の漁場環境の改善と漁業生産力の増強を図り、漁業及び漁協経営の体質強化を図るための各種事業を行っている。

- 1, 漁場清掃や漁場保護のための境界目印の設置を行うなど、漁場環境の回復を図る。
- 2, 主要魚種の移植放流, 人工孵化放流を実施し, 漁業資源の維持培養を図る。
- 3, ホイスト, 漁船捲揚機等の施設の充実強化を図る。
- 4, 漁港・船溜り内の清掃・遊漁者等とのトラブル防止のためのフェンス設置等の環境整備及び淡水魚消費拡大のための各種イベント参加, 新製品の試食・配布等を行う。
- 5, 違反操業の未然防止や遊漁指導の座談会等を開催し, 漁業の秩序維持確立を図る。
- 6, 漁協役職員のレベルアップの講習・研修会の実施, 最新事務機器の導入による事務の近代化を図る。
- 7, その他の事業



## 9 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会等の概要

### (1) 海区漁業調整委員会

海区漁業調整委員会は、漁業の民主化を図るため、漁業者を主体とした漁業調整機構として創設された。その権限及び機能は、漁業法や水産資源保護法、県漁業調整規則等に定められており、諮問機関、建議機関、決定機関等として広範な権限を有している。

霞ヶ浦北浦は漁業法に基づく海区指定を受け、昭和25年8月に霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会が設置された。委員は、漁業者が選挙により選ぶ公選委員6人と知事が選任する学識委員3人及び公益代表委員1人の計10人をもって構成され、任期は4年である。平成20年8月に選出された現在の委員は第19期に当たり、事務局は土浦市真鍋の県土浦合同庁舎内に置かれ、職員2名が配置されている。

平成21年度の活動内容の主なものとして、第1種区画漁業（小割式養殖業）の免許の答申や、しらうおさし網漁業などの許可等に関する取扱方針の審議等を行った。

また、落とし網漁業を委員会承認漁業とし、有効期間を平成26年8月31日とする委員会指示を平成21年3月に行った。

表19 漁業調整委員会の開催状況

年度 区分	17	18	19	20	21
委員会	8	5	7	6	6
公聴会	1	—	—	—	1
協議会	1	4	2	3	2
計	10	9	9	9	9

### (2) 茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会

漁業と遊漁及び海洋性レクリエーションとの円滑な海面利用の調整を図るため、平成6年度に漁場利用審議会を発展的に改組し、新たに海面利用協議会を設置した。

本協議会には、海区別に部会が設置され、霞ヶ浦北浦海区には、霞ヶ浦北浦海区部会が設置されている。本部会は知事から委嘱された7人の委員（漁業関係委員2人、遊漁関係委員2人、海洋性レクリエーション関係委員1人、学識経験委員2人）で構成されており、平成20年12月に選出された現在の委員は第8期に当たり、任期は2年である。

平成21年度の霞ヶ浦北浦海区部会は9月に開催し、霞ヶ浦北浦における漁業と遊漁の現状などについて協議を行った。

## 10 霞ヶ浦北浦に関わる県の機関及び各種団体

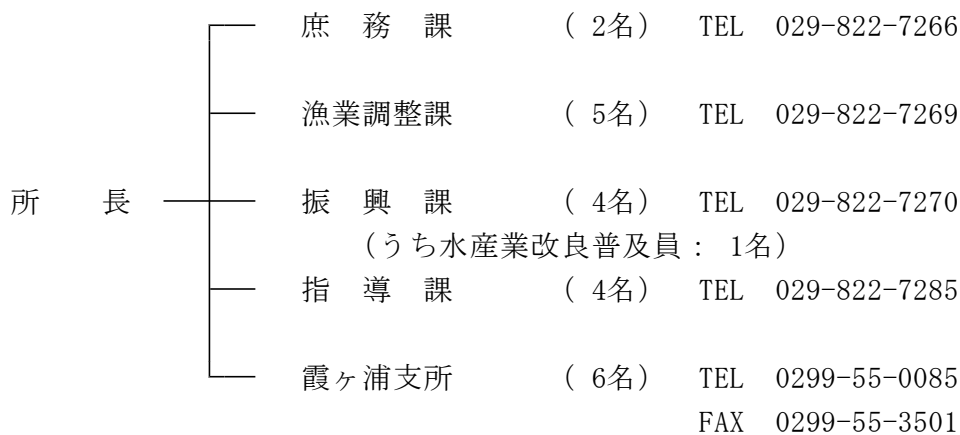
### (1) 県の機関

- ① 茨城県霞ヶ浦北浦水産事務所（25名，うち水産業改良普及員 1名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7266

FAX 029-824-2773



- ② 霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会（委員 10名）・・・・・・事務局（2名）

茨城県海面利用協議会霞ヶ浦北浦海区部会（委員 7名）

〒300-0051 土浦市真鍋5丁目17番26号

TEL 029-822-7287

FAX 029-824-2773

○霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員（任期：平成20年 8月15日～平成24年 8月14日）

区 分	氏 名	所 属
会 長	木 川 宗 次	きたうら広域漁協 代表監事
公 選 委 員	鈴 木 幸 雄	漁業（霞ヶ浦漁協）
公 選 委 員	戸 島 武 男	きたうら広域漁協 代表理事組合長
公 選 委 員	竹 石 正 明	霞ヶ浦北浦小割式養殖漁協 代表理事組合長
公 選 委 員	田 崎 興	霞ヶ浦漁協 理事
公 選 委 員	樽 見 軍 司	漁業（霞ヶ浦漁協）
公 益 委 員	坂 本 俊 彦	前行方市長
学識経験委員	塚 本 悟	元霞ヶ浦漁連 代表理事会長
学識経験委員	方波見 和夫	前きたうら広域漁協 代表理事組合長
学識経験委員	榎 田 昭	元（財）茨城県栽培漁業協会 専務理事

## (2) 住所録

平成22年9月1日現在

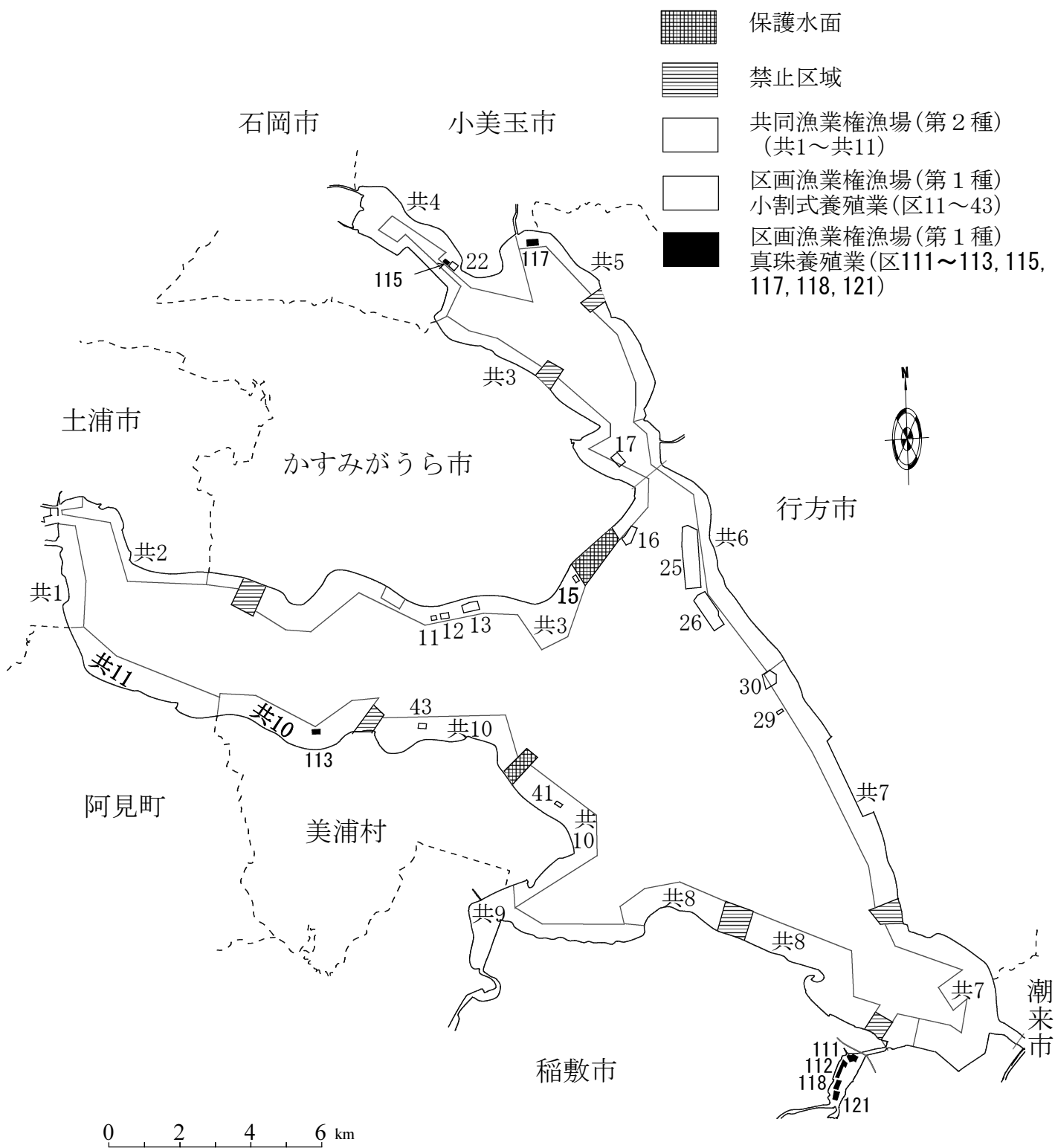
団体名	住所	電話番号 F A X	代表者名
<b>【霞ヶ浦地区 漁業協同組合】</b>			
霞ヶ浦	300-0823 土浦市小松 1-21-9	029-821-6388 029-821-4446	代表理事組合長 薄井 征記
土浦市支部	300-0835 土浦市大岩田 525-6	029-821-6057 029-821-7150	支部長 井嶋 文三
土浦第一支部	300-0025 土浦市手野町 2181-2	029-828-0885 (FAX 兼用)	支部長 瀬古沢 登
かすみがうら市支部	300-0214 かすみがうら市坂 1938	029-896-0046 029-896-0807	支部長 桜井 謙治
田余支部	311-3433 小美玉市高崎 796	0299-26-4055 (FAX 兼用)	支部長 長谷川 正二
新治玉川支部	311-3432 小美玉市下玉里 1563-3	0299-58-1216 (FAX 兼用)	支部長 山口 勇
玉造支部	311-3512 行方市玉造甲 125-8	0299-55-0057 0299-55-0881	支部長 斉藤 邦夫
牛堀支部	311-2437 潮来市永山 827	0299-64-5348 (FAX 兼用)	支部長 薄井 征記
本新島支部	300-0723 稲敷市境島 424	0299-78-3519 (FAX 兼用)	支部長 鈴木 正秀
浮島支部	300-0641 稲敷市浮島 3159	029-894-6304 (FAX 兼用)	支部長 山田 廣嗣
古渡浦支部	300-0633 稲敷市岡飯出 1706	029-894-3306	支部長 山木 武雄
古渡支部	300-0502 稲敷市信太古渡 559	029-892-0562 029-892-7912	支部長 武藤 彰男
美浦村安中支部	300-0402 稲敷郡美浦村大山 2337	029-886-0122 029-886-0180	支部長 田崎 興
美浦村支部	300-0421 稲敷郡美浦村木原 586-1	029-885-0593 (FAX 兼用)	支部長 羽成 和雄
阿見町支部	300-0304 稲敷郡阿見町掛馬 1283	029-887-3832	支部長 柳生 幸男
麻生	311-3832 行方市麻生 163-1	0299-72-0416 (FAX 兼用)	代表理事組合長 吉崎 佐兵衛
高浜入	311-3423 小美玉市小川 1343-25	0299-58-2703 0299-58-2708	代表理事組合長 渡辺 章
<b>北浦地区 漁業協同組合】</b>			
きたうら広域	311-3823 行方市白浜 1570	0299-73-3037 0299-73-3280	代表理事組合長 戸島 武男
北浦支部	311-1702 行方市三和 1597	0291-35-2219 0291-35-3883	支部長 村上 政衛
大和支部	311-3824 行方市宇崎 293	0299-73-3205 0299-73-3922	支部長 海老澤 武美

団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X	代 表 者 名
大 洋 支 部	311-2118 銚田市阿玉 150-1	0291-39-3057 0291-39-8218	支 部 長 戸 島 武 男
銚 田 支 部	311-1523 銚田市串挽 2221-11	0291-33-2690 (FAX 兼用)	支 部 長 長 峯 正 俊
大 野 支 部	311-2205 鹿嶋市大字津賀 333	0299-69-1086 —	支 部 長 北 崎 政 右 衛 門
鹿 島 支 部	314-0023 鹿嶋市大字谷原 842-2	0299-82-2559 0299-82-2616	支 部 長 方 波 見 建 造
潮 来	311-2406 潮来市新宮 1942	0299-66-2711 (FAX 兼用)	代 表 理 事 組 合 長 小 沼 政 美
常 陸 川	314-0114 神栖市日川 3744	0299-96-0903 (FAX 兼用)	代 表 理 事 組 合 長 保 立 達 夫
<b>【業種別 漁業協同組合】</b>			
霞ヶ浦北浦 小割式養殖	311-3513 行方市手賀 786-3	0299-55-0289 0299-55-0244	代 表 理 事 組 合 長 竹 石 正 明
<b>【水産加工業協同組合】</b>			
霞ヶ浦北浦	300-0134 かすみがうら市深谷 2964-7 かすみがうら市商工会 霞ヶ浦支所内	029-897-0055 029-897-0956	代 表 理 事 組 合 長 戸 田 廣
土 浦 支 部	300-0033 土浦市川口 1-5-9	029-821-4141 029-821-1170	支 部 長 田 中 栄 一
かすみがうら市支部	300-0134 かすみがうら市深谷 2964-7 かすみがうら市商工会 霞ヶ浦支所内	029-897-0055 029-897-0956	支 部 長 戸 田 廣
霞ヶ浦支部	311-3832 行方市麻生 278	0299-72-0486 0299-72-0487	支 部 長 平 野 毅
霞ヶ浦湖南支部	300-0421 稲敷郡美浦村木原 590	029-885-2257 029-885-1822	支 部 長 橋 本 美 夫
北 浦 支 部	311-3823 行方市白浜 353	0299-73-3020 (FAX 兼用)	支 部 長 辺 田 和 夫
<b>【霞ヶ浦北浦関係市町村】</b>			
土 浦 市	300-0812 土浦市下高津 2-7-36	029-826-1111 029-823-9220	農 林 水 産 課 長 久 保 田 寿
石 岡 市	315-8640 石岡市石岡 1-1-1	0299-23-1111 0299-24-5358	農 政 課 長 前 沢 洋 一
鹿 嶋 市	314-8655 鹿嶋市大字平井 1187-1	0299-82-2911 0299-84-1213	農 林 水 産 課 長 橋 本 久 雄
潮 来 市	311-2493 潮来市辻 626	0299-63-1111 0299-63-3591	農 政 課 長 岩 本 是
稲 敷 市	300-0792 稲敷市結佐 1545 (東庁舎)	0299-78-3385 0299-78-3398	農 政 課 長 坂 本 猛

団体名	住所	電話番号 F A X	代表者名
かすみがうら市	300-0192 かすみがうら市大和田 562 (霞ヶ浦庁舎)	029-897-1111 029-897-1243	農林水産課長 大川 博
小美玉市	319-0192 小美玉市堅倉 835	0299-48-1111 0299-48-1199	農政課長 山口 勇夫
銚田市	311-1592 銚田市銚田 1444-1	0291-33-2111 0291-32-2128	産業経済課長 小沼 頼廣
神栖市	314-0408 神栖市波崎 6530 (波崎総合支所)	0479-44-1111 0479-44-1830	農林水産課長 宮本 一男
行方市	311-1792 行方市山田 2564-10 (北浦庁舎)	0291-35-2111 0291-35-3258	農林水産課長 関野 嘉弘
美浦村	300-0492 稲敷郡美浦村受領 1515	029-885-0340 029-885-1120	経済課長 仲内 秀夫
阿見町	300-0392 稲敷郡阿見町中央 1-1-1	029-888-1111 029-887-9560	農業振興課長 大塚 芳夫
<b>【水産関連団体・漁業協同組合連合会】</b>			
(財)霞ヶ浦漁業 振興基金協会	300-0823 土浦市小松 1-21-9 霞ヶ浦漁協内	029-821-6388 029-821-4446	理事長 薄井 征記
霞ヶ浦北浦 水産振興協議会	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26 土浦合同庁舎 霞ヶ浦北浦水産事務所内	029-822-7285 029-824-2773	会長 中川 清
茨城県沿海地区 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-224-5151 029-224-0070	代表理事会長 宇佐見 實
茨城県信用 漁業協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-6281 029-226-4307	代表理事会長 大内 清一
茨城県水産加工業 協同組合連合会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186	代表理事会長 藤邨 輝行
茨城県 水産物開発普及協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-8004 029-224-5186	会長理事 高田 亥助
全国合同 漁業共済組合 茨城県事務所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-1036 029-222-1031	事務所長 小野 勲
全国共済水産業 協同組合連合会 茨城県事務所	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-225-2036 029-231-7668	所長 金沢 恵子
茨城県漁船保険組合	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-221-8526 029-231-9365	組合長 鈴木 將之
茨城県 漁業信用基金協会	310-0011 水戸市三の丸 1-1-33 すいさん会館内	029-226-0717 029-231-0342	理事長 渡辺 一夫

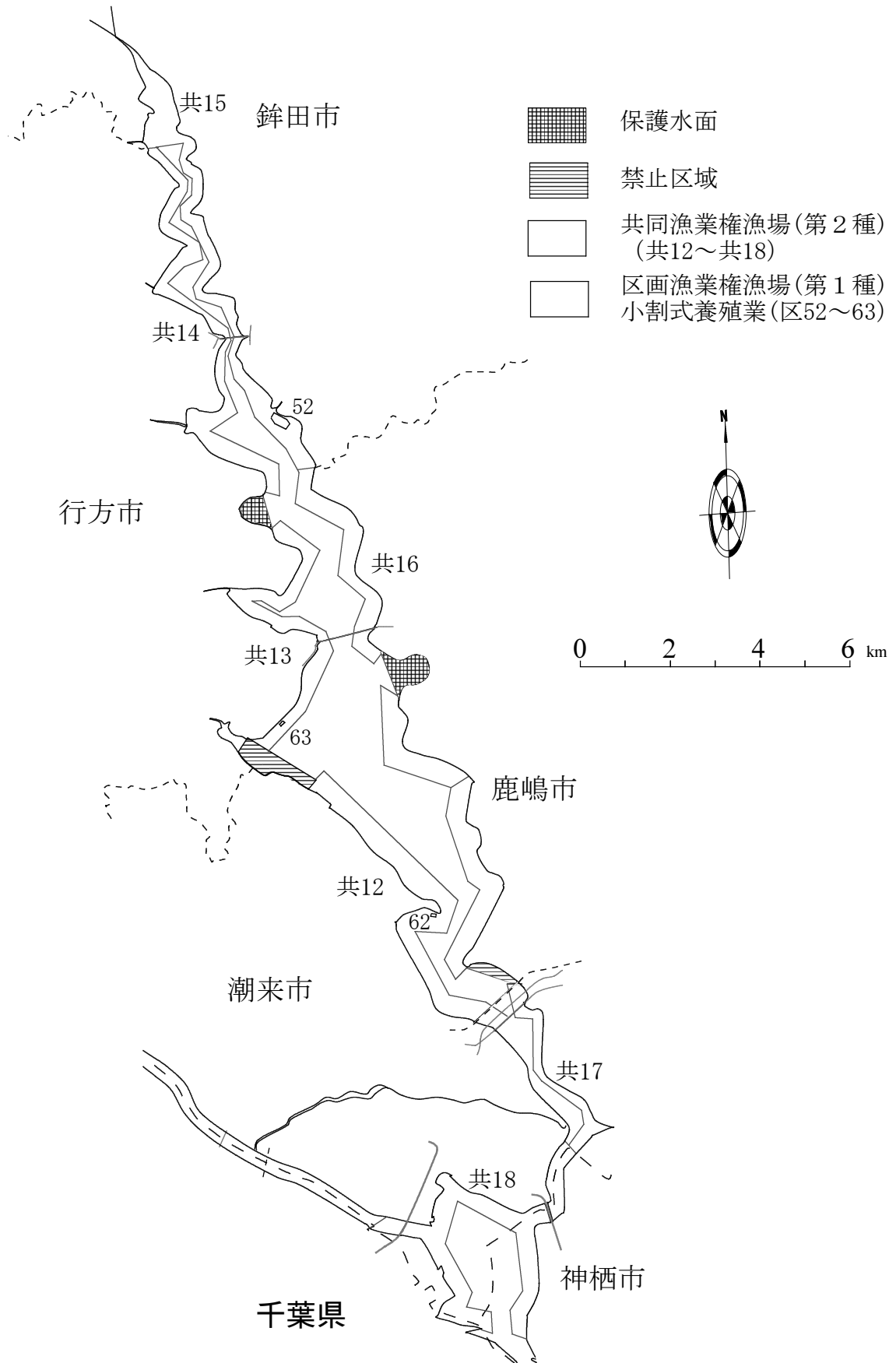
団 体 名	住 所	電 話 番 号 F A X	代 表 者 名
<b>【茨城県】</b>			
漁 政 課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4070 029-301-4089	次長兼課長 別 井 一 栄
水産振興課	310-8555 水戸市笠原町 978-6	029-301-4114 029-301-4129	課 長 小 斉 和 宏
霞ヶ浦北浦 水産事務所	300-0051 土浦市真鍋 5-17-26	029-822-7266 029-824-2773	所 長 大 川 雅 登
霞ヶ浦支所	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0085 0299-55-3501	
水産試験場	311-1203 ひたちなか市平磯町三ツ塚 3551-8	029-262-4158 029-263-0414	場 長 鈴 木 正 伸
内水面水産試験場	311-3512 行方市玉造甲 1560	0299-55-0324 0299-55-1787	場 長 高 濱 芳 明
県北支場	311-0504 常陸太田市小中町 1336	0294-82-2448 (FAX 兼用)	
<b>【国等関係機関】</b>			
農林水産省関東農政局 茨城農政事務所	310-0061 水戸市北見町 1-11	029-221-2184 029-227-1535	所 長 市 川 宣 明
国土交通省 関東地方整備局 霞ヶ浦河川事務所	311-2424 潮来市潮来 3510	0299-63-2411 0299-62-4652	所 長 望 月 美 知 秋
土浦出張所	300-0822 土浦市蓮河原町 4497	029-821-2155 029-822-8510	
麻生出張所	300-3832 行方市麻生 1570-1	0299-72-1428 0299-72-0088	
潮来出張所	311-2424 潮来市潮来 6124-6	0299-62-2176 0299-63-0818	
銚田出張所	311-1517 銚田市銚田 1066	0291-32-3381 0291-33-5567	
波崎出張所	314-0254 神栖市太田 3109	0479-46-0101 0479-46-3109	
(独)水資源機構 利根川下流総合管理所	300-0732 稲敷市上之島 3112	0299-79-3311 0299-79-3316	所 長 村 尾 浩 太
玉造管理所	311-3512 行方市玉造甲 1234	0299-55-4331 0299-55-4310	

# 霞ヶ浦北浦海区の漁場図（霞ヶ浦） （平成22年 9月 1日現在）



# 霞ヶ浦北浦海区の漁場図（北浦）

（平成22年 9月 1日現在）





霞ヶ浦北浦の漁業生産量の推移

魚種別		単位:トン							
年	総漁獲量	ワカサギ	シラウオ	ハゼ類	エビ	コイ	フナ	シジミ	イサザアミ
29	7,187	1,514	321	411	203	200	471		1,400
30	6,162	1,383	441	582	490	156	429		1,549
31	6,627	1,185	364	501	459	125	481		2,013
32	6,787	901	297	520	435	75	462		3,201
33	7,275	1,286	507	566	356	54	369	860	2,327
34	8,513	1,036	277	487	210	130	485	2,585	2,371
35	7,417	894	486	846	269	97	467	1,207	2,086
36	8,776	556	573	1,129	1,050	116	627	1,475	2,122
37	8,214	951	455	578	1,042	142	806	1,284	1,589
38	10,946	1,809	433	793	579	169	787	3,095	698
39	6,906	1,570	313	755	331	200	690	799	1,214
40	10,648	2,595	228	719	311	272	960	1,920	1,064
41	11,560	2,420	416	1,065	602	260	847	2,918	1,623
42	13,596	1,395	217	1,966	1,485	349	1,272	3,056	966
43	14,252	665	199	3,207	1,551	530	1,390	2,096	2,968
44	13,661	405	144	4,020	1,914	486	1,261	2,041	1,658
45	15,514	772	342	2,964	2,348	682	1,512	3,517	1,843
46	15,599	425	175	3,042	4,011	869	1,587	2,732	879
47	13,376	606	200	2,155	3,911	785	1,628	1,728	1,400
48	13,395	238	160	3,688	3,383	1,067	1,484	1,818	866
49	13,726	923	157	1,571	3,636	1,200	1,332	2,271	1,735
50	16,954	570	92	3,897	4,972	1,718	1,488	1,233	1,817
51	15,650	570	69	2,309	3,250	1,723	1,842	1,170	3,515
52	15,068	1,121	78	2,347	4,120	1,194	1,198	1,046	1,710
53	17,487	358	30	4,734	4,764	1,250	1,127	1,796	1,631
54	13,778	829	24	2,479	4,119	1,422	1,340	749	1,522
55	12,805	399	40	2,619	3,656	1,643	1,129	491	1,833
56	12,080	211	53	2,946	3,285	1,221	884	295	1,899
57	12,238	418	97	3,021	3,577	1,128	710	510	1,809
58	11,069	695	152	1,644	3,011	744	639	315	2,037
59	7,367	1,570	315	1,010	2,102	675	579	157	333
60	10,244	1,091	192	2,012	3,094	804	578	106	1,739
61	8,224	1,216	213	1,386	2,318	773	576	104	697
62	8,525	473	88	2,697	2,245	747	434	19	1,015
63	7,520	323	81	1,513	2,315	693	403	60	1,250
元	6,859	457	80	1,394	2,855	535	278	4	825
2	5,405	463	110	1,401	1,924	452	240	0	612
3	5,821	530	184	929	2,242	490	223		1,036
4	5,109	400	209	1,330	1,981	462	156		387
5	5,214	420	178	978	1,886	492	152		974
6	4,576	289	200	950	2,111	489	119		242
7	4,422	237	244	714	2,003	496	126		416
8	4,109	259	294	832	1,527	427	121		348
9	4,263	352	345	594	1,636	306	133		534
10	2,998	160	134	411	1,201	284	86		367
11	2,969	70	119	315	1,404	253	72		210
12	2,416	51	95	244	1,097	230	110		280
13	2,063	65	268	140	724	241	109		114
14	1,747	55	81	133	521	251	122		210
15	1,422	106	130	120	331	116	90		168
16	1,794	71	103	426	679	54	48		229
17	2,061	186	79	371	518	119	66		184
18	1,740	123	127	104	551	69	45		73
19	2,591	227	165	152	603	66	49	※1	
20	2,068	134	190	76	491	62	40		

※1 平成19年からイサザアミはその他

漁業種類別		単位:トン					
年	総漁獲量	底びき網			掛網	張網	採貝
		トロール	横ひき	帆ひき			
29	7,187		1,691	1,325	240	709	324
30	6,162		1,889	1,539	152	646	155
31	6,627		2,249	1,164	136	755	144
32	6,787		3,542	971	140	659	270
33	7,275		2,574	1,439	108	749	1,123
34	8,513		2,547	998	193	834	2,743
35	7,417		2,366	1,112	130	1,039	1,493
36	8,776		2,504	1,315	219	1,553	1,719
37	8,214		1,836	1,259	236	1,511	1,777
38	10,946		931	1,564	268	1,771	4,939
39	6,906		1,305	1,257	328	1,378	1,241
40	10,648		1,328	1,861	562	1,747	3,640
41	11,560		1,840	2,214	854	1,747	3,333
42	13,596		1,129	1,391	1,866	3,917	3,695
43	14,252	1,852	2,267	90	1,049	4,480	2,499
44	13,661	1,603	1,786	19	914	5,244	2,435
45	15,514	2,928	1,306	25	1,090	4,100	3,848
46	15,599	2,102	1,000	19	1,154	5,463	3,558
47	13,376	3,076	1,068	25	762	4,495	1,984
48	13,395	2,300	1,513	35	1,007	5,048	1,966
49	13,726	1,504	2,793	13	1,224	4,676	1,244
50	16,954	2,827	3,379	15	1,834	6,500	1,265
51	15,650	1,776	4,844	41	1,538	4,995	1,240
52	15,068	1,321	4,153	179	1,857	5,075	994
53	17,487	3,297	3,674	105	1,856	5,668	1,558
54	13,778	1,860	3,127	402	1,383	4,962	668
55	12,805	758	4,556	106	1,438	4,426	396
56	12,080	534	5,153	44	1,460	3,726	327
57	12,238	692	5,362	146	1,287	3,605	578
58	11,069	900	4,573	29	1,838	2,640	324
59	7,367	2,617	1,082	6	706	2,404	197
60	10,244	2,600	3,541		729	2,909	107
61	8,224	1,803	2,263		1,018	2,681	128
62	8,525	1,940	3,191		1,100	1,940	23
63	7,520	1,339	2,851		1,151	1,865	67
元	6,859	2,088	2,104		591	1,860	4
2	5,405	1,963	1,643		392	1,248	0
3	5,821	2,255	1,999		425	989	
4	5,109	2,644	1,228		405	711	
5	5,214	1,817	2,196		400	683	
6	4,576	1,516	1,456		364	1,062	
7	4,422	1,695	1,408		375	895	
8	4,109	1,722	1,102		390	826	
9	4,263	1,925	1,275		441	562	
10	2,998	1,072	986		416	466	
11	2,969	1,206	826		370	521	
12	2,416	884	772		328	393	
13	2,063	869	365		446	290	
14	1,747	579	371		428	338	
15	1,422	512	303		289	295	
16	1,794	951	429		105	278	
17	2,061	703	444		232	267	
18	1,740	872	171		383	293	
19	2,591	※2 1,650			584	335	
20	2,068	1,232			497	286	

※2 平成19年からトロール、横ひき、帆ひきは底びき網

(農林水産統計)